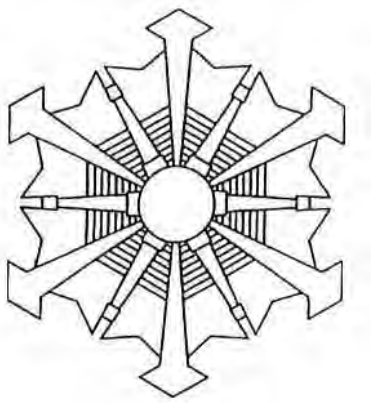
消 防 年 報

令 和 元 年 度 版



野 田 市 消 防 本 部

はしがき

この年報は、令和元年度における野田市消防本部の現勢と消防諸般の状況を収録し、今後における消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

本年報は、特に記載のあるものを除き原則会計年度とし、火災・救急に関するものは暦年により表したものです。

令和２年６月

野田市消防本部

野　田　市　民　憲　章

昭和５５年５月３日制定

1　郷土の自然を愛し、平和で安全な環境を守ります。

2　たがいに助け合い、すべての市民の幸福を願います。

3　からだをきたえ、仕事に励み、楽しい家庭をつくります。

4　きまりを守り、信頼と愛情を深め、心豊かな社会を築きます。

5　教養と文化を高め、自由と希望に満ちた郷土をめざします。

昭和45年10月17日指定

昭和60年5月3日指定

昭和60年5月3日指定

人権・平和尊重都市宣言

個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市宣言

わたしたち野田市民は、日本国憲法、地方自治法の基本理念に則り、地域の個性を生かしながら、基本的人権を尊重し、平和を尊ぶ野田らしいまちづくりに懸命に努力を続けている。

日本国憲法、地方自治法施行50周年の節目にあたり、わたしたちは両法の重要性を再認識するとともに、市民憲章の精神、平和祈念碑の碑文の精神を育みつつ、豊かな自然と歴史を生かした健康的な文化都市を目指すために、ここに野田市を「個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市」とすることを宣言する。(平成9年5月5日制定)

総　　括　　表

消防本部・消防署	消防本部設置　昭和２９年１０月１１日			令和元年度	一般会計歳出予算		49,087,000 千円
	消防署数	1			消防費当初予算		1,893,395 千円
	分署（所）数	４分署１出張所			一般会計に対する割合		3.9 %
	消防職員数	176 人			消防費	市民１人あたり	12,263 円
	消防長	専任				１世帯あたり	27,776 円
消防団	分団数	30分団26部		消防機械	区分	本部・署	団
	消防団員数	638 人			消防ポンプ自動車	3	14
面積		103.55 ㎢			水槽付消防ポンプ自動車	6	
平成２７年国勢調査人口		153,583 人			小型動力ポンプ付水槽車	1	
平成３１年４月１日人口		154,404 人			化学消防ポンプ自動車	1	
平成３１年４月１日世帯		68,166 世帯			はしご車	1	
火災	出火件数	47 件			救助工作車	2	
	建物火災	25 件			救急自動車(高規格救急車)	7	
	損害額	101,489 千円			小型動力ポンプ付積載車		43
	建物焼損床面積	1,375 ㎡			指揮車	1	1
	人口１万人当たりの出火件数	3 件			広報車	2	1
					その他	14	
救急	救急出場件数	7,998 件			計	37	59
	急病	5,356 件		通信用施設	消防用 基地局	1局6装置	
	交通事故	585 件			消防用 移動局	30	1
	上記以外	2,057 件			無線機 携帯局	19	6
	搬送人員	7,284 人			無線機 受令機		57
消防水利	消火栓	2,107 基			１１９番受付回線	9	
	基準	1,582 基			消防専用電話	9	
	防火水槽	861 基		危険物施設		613	
	基準	716 基		防火対象物		4,038	
	耐震性防火水槽	152 基		中高層建築物		609	

目　　次

はしがき
野田市民憲章
総括表

概　要

1　野田市の位置、地勢　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2　野田消防のあゆみ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〃
3　消防組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
4　消防の沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～１１

総　務

1　消防本部組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
2　消防職員の配置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〃
3　署所配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
4　消防本部及び署所の施設概要　・・・・・・・・・・・・・・１４
5　野田市の面積・人口・世帯数　・・・・・・・・・・・・・・１５
6　消防力と地勢の比較　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〃
7　予算の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〃
8　消防職員の勤続年数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
9　消防職員の年齢　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〃
１０　委託教養　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
１１　免許・資格保有状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
１２　消防本部（署）事務分掌　・・・・・・・・・・・・・・・１９～２１

予　防

1　防火対象物の現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
2　中高層建築物及び地階を有する建築物　・・・・・・・・・２３
3　建築同意事務処理状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
4　消防法関係各種届出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
5　火災予防条例関係届出　・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

６　防火管理者の選任状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・２７
７　甲種防火管理新規講習会実施状況　・・・・・・・・・・・　〃
８　予防査察　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
９　危険物製造所等の数　・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
１０　数量・類別危険物製造所等の数　・・・・・・・・・・・３０
１１　月別危険物製造所等の許可・検査等の数　・・・・・・・３１
１２　危険物製造所等の申請手数料　・・・・・・・・・・・・３２
１３　火災予防広報活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
１４　音楽隊活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

警　防

１　消防水利の現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
２　消防用車両の配置状況　・・・・・・・・・・・・・・・３６
３　資機(器)材一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・３７～３８
４　応援協定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

消 防 団

１　消防団の組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
２　消防団員の配置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　〃
３　消防団位置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
４　各分団分担区域及び器具置場所在地　・・・・・・・・・４２～４３
５　消防団員の在職年数　・・・・・・・・・・・・・・・・４４
６　消防団員の年齢　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　〃
７　消防団車両等の配置状況　・・・・・・・・・・・・・・４５～４６

火災統計

１　火災の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
２　出火件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８
３　月別火災状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
４　火災による損害額　・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
５　初期消火器具等の使用状況　・・・・・・・・・・・・・５１
６　火災の通報状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　〃
７　出火原因別状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２

８　火災発生時刻と件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３
９　各年火災件数グラフ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４

救 急 統 計

１　救急出場件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
２　人口と救急件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６～５７
３　署所別救急出場件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
４　区域別救急出場件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 〃
５　曜日別救急出場件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 〃
６　搬送人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
７　医療機関別搬送人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
８　年齢別搬送人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 〃
９　講習会実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 〃

救 助・そ の 他

１　月別救助出場状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
２　事故種別活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 〃
３　その他災害出場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２

通 信 指 令

１　通信指令装置の機器構成　・・・・・・・・・・・・・・・・６３
２　消防通信系統図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
３　消防用無線電話配置状況　・・・・・・・・・・・・・・・・６５
４　１１９番通報受信件数　・・・・・・・・・・・・・・・・・６６
５　各種気象情報等受理状況　・・・・・・・・・・・・・・・・６７

概　　要

1　野田市の位置、地勢

野田市は、利根川と江戸川に挟まれた千葉県の北西端に位置し、関東平野のほぼ中央に位置します。面積は１０３．５５平方キロメートルとなります。

市の最北端部で利根川と江戸川が分流し、東を利根川によって茨城県に、西を江戸川によって埼玉県に、南を明治時代に開削された利根運河によって、県内の柏市及び流山市に接し、三方を河川に囲まれた水と緑に恵まれた地域です。

2　野田消防のあゆみ

往年の野田町の消防は、キッコーマン株式会社の前身であった町内の各醸造家が、明治２０年にそれぞれ龍吐水を備えた（同２７年腕用ポンプに切替）いわゆる自衛消防隊で、自工場はもちろん、町の火災にも出場した私設消防隊のみであった。

明治２７年６月野田町消防組が設置されたが、私設消防力に比し、ポンプ・人員とも劣弱であった。

その後、町有志のガソリンポンプの寄付等もあり、大正１２年野田醤油株式会社の水道施設完成とともに、公設消防の機能が着々と充実していった。

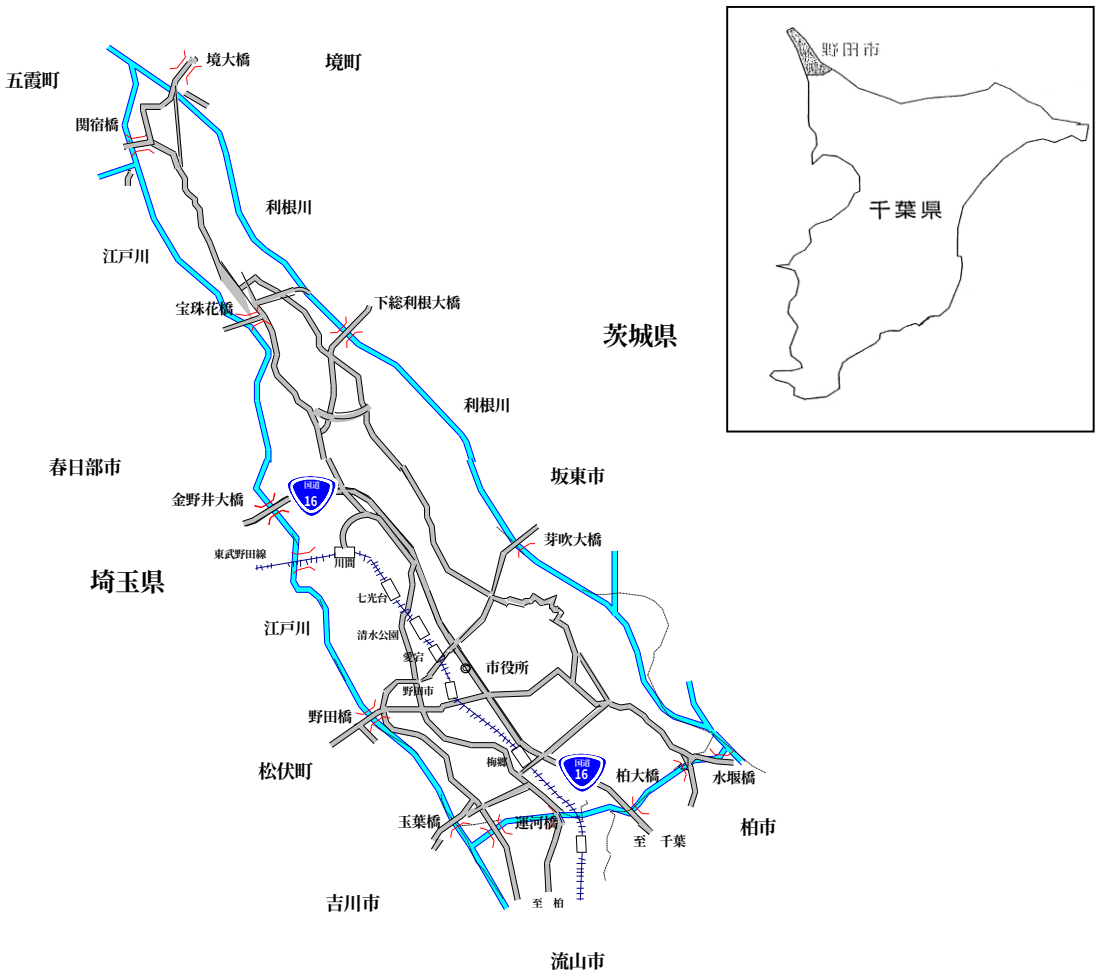
野田市は、昭和２５年５月に野田町、旭村、梅郷村及び七福村の１町３村が合併して、県下８番目の市として誕生し、その後昭和２９年１０月に消防本部・消防署が設置された。

昭和３２年、川間村及び福田村が野田市に編入された。

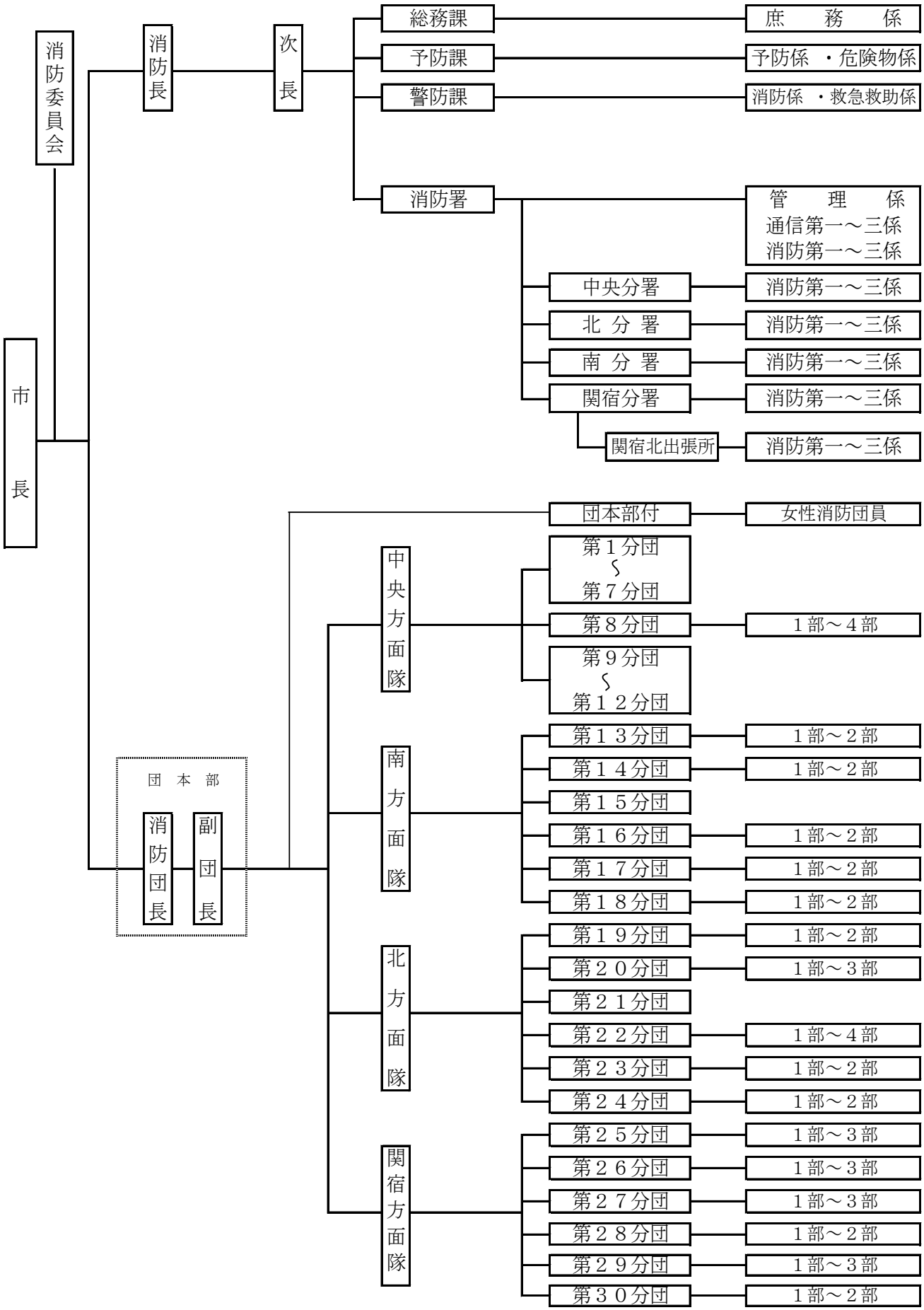
旧関宿町は、昭和３０年に関宿町、二川村及び木間ヶ瀬村の１町２村が合併し、平成元年１０月に関宿町消防本部（現在の野田市消防署関宿分署）が設置された。

その後、平成１５年６月６日、関宿町が野田市に編入合併され、新「野田市」が誕生した。

合併により、常備・非常備消防共に統一が図られ、今日の消防体制となっている。



3　消防組織


市長
消防委員会
消防長
次長
総務課
庶務係
予防課
予防係・危険物係
警防課
消防係・救急救助係
消防署
管理係
通信第一～三係
消防第一～三係
中央分署
消防第一～三係
北分署
消防第一～三係
南分署
消防第一～三係
関宿分署
消防第一～三係
関宿北出張所
消防第一～三係
団本部付
女性消防団員
団本部
消防団長
副団長
中央方面隊
第１分団
～
第７分団
第８分団
１部～４部
第９分団
～
第１２分団
南方面隊
第１３分団
１部～２部
第１４分団
１部～２部
第１５分団
第１６分団
１部～２部
第１７分団
１部～２部
第１８分団
１部～２部
北方面隊
第１９分団
１部～２部
第２０分団
１部～３部
第２１分団
第２２分団
１部～４部
第２３分団
１部～２部
第２４分団
１部～２部
関宿方面隊
第２５分団
１部～３部
第２６分団
１部～３部
第２７分団
１部～３部
第２８分団
１部～２部
第２９分団
１部～３部
第３０分団
１部～２部

4　消防の沿革

明治 27年 (1894)	6月	野田町消防組設置　３部制、組員１９５名
		初代組頭　茂木啓三郎氏就任
大正 12年 (1923)	5月	野田町消防組　７部制、組員３６５名
大正 15年 (1926)		野田町消防組本部設置　団員３７７名
昭和　2年 (1927)	6月	組頭　茂木房五郎氏就任
昭和 10年 (1935)	4月	野田町消防救護班設置　班員３５８名
昭和 14年 (1939)		消防組を解散し、警防団に改組　７ケ分団２５３名
		初代警防団長　茂木房五郎氏就任
昭和 19年 (1944)	5月	第２代警防団長　小林庄太郎氏就任(町長兼務)
昭和 20年 (1945)	4月	常備消防部設置　機関員２名、専任外部団員交代で５名勤務する
	10月	常備消防専任職員１０名採用
昭和 22年 (1947)	8月	消防団に改組　初代消防団長　髙梨小一郎氏就任　７ケ分団１７６名
	9月	カスリン台風により利根川堤防決壊し、北埼玉、北葛飾一帯大洪水 消防団等による被災者の救援活動
昭和 24年 (1949)	7月	常備消防詰所新築(木造平家建)　建築費４２０千円
昭和 25年 (1950)	5月	一町三ケ村合併し市制施行。常備消防職員１０名 消防団は４部団制２４ケ分団、団員６１２名
		消防委員会発足　初代消防委員長　茂木芳次郎氏就任
	7月	治安委員長　茂木邦吉氏就任
	12月	常備消防専用消防ポンプ自動車(いすゞ市原)購入 （それまでは各分団の車両を借用していた）
昭和 27年 (1952)	11月	全国初の円筒形鉄筋コンクリート望楼竣工、高さ３３m 建築費１，６９２千円
昭和 28年 (1953)	3月	常備消防専任職員１６名
	8月	消防団員８４２名
昭和 29年 (1954)	6月	治安委員長　中島剛一氏就任
	7月	常備消防専任職員２２名
	10月	消防本部及び消防署設置
		初代消防長　戸辺織太郎氏就任(市長兼務)
昭和 30年 (1955)	10月	消防職員定数改正２６名
昭和 31年 (1956)	1月	消防用中短波陸上無線機購入(基地局１、移動局１)
昭和 32年 (1957)	3月	消防職員定数改正３０名
	4月	２代消防長　地曳由松氏就任
		２ケ村合併　消防団６部団制３８ケ分団、団員１，０１３名
昭和 34年 (1959)	1月	野田市危険物安全協会設立　初代会長　茂木芳次郎氏就任
	4月	消防職員定数改正３３名
昭和 35年 (1960)	6月	救急自動車(シボレー)消防署に配備し、救急業務を開始
昭和 36年 (1961)	4月	３代消防長　八角治一氏就任
	9月	消防職員定数改正３６名
昭和 38年 (1963)	2月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(火災保険号) 寄贈
	6月	野田市防災会議条例制定
昭和 39年 (1964)	3月	消防職員定数改正４０名
	9月	救急自動車（ニッサン）購入　消防署に配置
昭和 40年 (1965)	9月	水槽付(1,700ℓ)消防ポンプ自動車(いすゞ)購入　消防署に配置

昭和 41年 (1966)	11月	消防用無線電話基地局１陸上移動局３購入　消防本部に配置
昭和 43年 (1968)	7月	ジープ(いすゞパトロール車)司令車として購入　消防本部に配置
	8月	消防団１の２分団器具置場新築移転
昭和 44年 (1969)	4月	４代消防長　金坂政雄氏就任
	9月	消防職員定数改正６０名
	12月	救急自動車（２B型）購入　消防署に配置
昭和 45年 (1970)	5月	野田市危険物安全協会を野田市消防防災協会に改称
	6月	消防本部・署の庁舎新築　鉄筋コンクリート３階建１，０３２㎡ 建築費５，４４０万円　１本部１署１分署体制となる
	12月	消防団旗新調購入
昭和 46年 (1971)	4月	消防署中央分署庁舎新築　鉄筋コンクリート２階建３２５㎡ 建築費１，９６５万円
		化学消防ポンプ自動車Ｉ型購入　中央分署に配置
	9月	２代消防団長　茂木克己氏就任
	10月	消防団に名誉消防団長制度を設ける
		消防団２の７、５の１分団器具置場新築
	12月	前消防団長　髙梨小一郎氏を名誉消防団長に推戴する
昭和 47年 (1972)	4月	５代消防長　武笠三郎氏就任
	9月	消防職員定数改正６６名
昭和 48年 (1973)	3月	消防団５の４分団器具置場新築
	4月	救急自動車(２B型)装備一式日本自動車工業会から寄贈　消防署に配置
		消防団６の４、６の５分団器具置場新築
	6月	救急自動車(２B型)装備一式千葉県農業協同組合連合会から寄贈　中央分署に配置
昭和 49年 (1974)	2月	消防団４の２分団器具置場新築
	3月	救助隊を編成する(隊員２６名)
	4月	消防職員定数改正７０名
	7月	広報自動車(日産)ＳＴＢ５０W装備付　本部に配置
昭和 50年 (1975)	2月	消防団４の１分団器具置場新築
	4月	消防団２ケ分団増設　４０ケ分団編成
		消防音楽隊発足（隊員１１名）
	5月	消防団４の６分団器具置場新築
	7月	第４回消防救助技術関東大会(高所人命救助)出場
	11月	消防団６の２分団器具置場新築
昭和 51年 (1976)	5月	救急自動車(２B型)装備一式ロータリークラブから寄贈　消防署に配置
	8月	６代消防長　日佐戸善吉氏就任
		第５回消防救助技術関東大会(高所人命救助)１位
	9月	第５回消防救助技術全国大会(高所人命救助)２位
		消防団積載車及び分団器具置場３ケ年整備計画開始
	10月	消防団員定数改正９２６名
昭和 52年 (1977)	6月	消防職員定数改正７６名
	7月	第６回消防救助技術関東大会(高所人命救助)１位
	8月	第６回消防救助技術全国大会(高所人命救助)３位
	10月	はしご車(24m級)森田式ME5D型(AⅡ)購入　３，９９５万円消防署配置
		消防団員定数改正８８６名
	12月	消防団積載車５台購入配置
		消防団１の６、３の２、３の３、３の４、５の５分団器具置場新築

昭和 53年 (1978)	9月	初代消防委員長　茂木芳次郎氏就任
	10月	消防団員定数改正８４９名
	12月	消防団積載車５台購入配置
		消防団２の３、２の８、６の１、６の６分団器具置場新築
		司令車(三菱ジープ)Ｈ－Ｊ２６ロータリークラブから寄贈　中央分署に配置
昭和 54年 (1979)	7月	第８回消防救助技術関東大会(高所人命救助)２位
	8月	第８回消防救助技術全国大会(高所人命救助)出場
	12月	消防団積載車６台購入配置
		消防団２の２、２の４、３の５、４の３、４の４、４の５、５の８、６の３器具置場新築 ３ケ年整備計画完了
昭和 55年 (1980)	1月	消防団５の７分団器具置場新築
	5月	３代消防団長　中野孝三郎氏就任
	7月	消防広報車　野田市消防防災協会から寄贈　本部に配置
		第９回消防救助技術関東大会(高所人命救助)１位
	8月	第９回消防救助技術全国大会(高所人命救助)２位
		消防団員定数改正８２２名
	9月	消防職員定数改正９４名
		２代消防委員長　高梨兵左衛門氏就任
	10月	水槽付(1,600ℓ)消防ポンプ自動車１台　日本損害保険協会から寄贈
昭和 56年 (1981)	3月	北分署庁舎新築　鉄筋コンクリート２階建453㎡　建築費84,720千円
	4月	消防本部機構改革(課制を布く)　１本部１署２分署体制となる
	7月	第１０回消防救助技術関東大会(高所人命救助)１位
	8月	第１０回消防救助技術全国大会(高所人命救助)１位
昭和 57年 (1982)	4月	消防団１の５分団器具置場新築
	6月	人員輸送車(日産)購入　本部に配置
	7月	第１１回消防救助技術関東大会(高所人命救助)出場
	8月	第１１回消防救助技術全国大会(高所人命救助)出場
	10月	９人乗りマイクロバス(日産)１台　(財)日本防火協会から寄贈
	11月	救助工作車Ⅱ型(日野)購入　消防署に配置
昭和 58年 (1983)	4月	千葉県防災行政無線(60MZT/R無線電話装置TR2FID-7F型) 設置
	7月	第１２回消防救助技術関東大会(高所人命救助)出場
	8月	第１２回消防救助技術全国大会(高所人命救助)出場
	9月	第２回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で１の５分団優秀賞
	12月	化学消防ポンプ自動車Ⅰ型(1,200ℓ＋300ℓ)購入　中央分署に配置
昭和 59年 (1984)	7月	第１３回消防救助技術関東大会（高所人命救助）１位
	8月	第１３回消防救助技術全国大会（高所人命救助）１位
	9月	消防団員定数改正７２９名　　消防職員定数改正１１３名
	11月	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車購入　南分署に配置
昭和 60年 (1985)	2月	救急自動車(２Ｂ型)購入　消防署に配置
	3月	南分署庁舎新築　鉄筋コンクリート平家建365㎡　建築費76,980千円 １本部１署３分署体制となる
		消防団１の７分団器具置場新築移転
	7月	第１４回消防救助技術関東大会（高所人命救助）１位
	8月	第１４回消防救助技術全国大会（高所人命救助）３位

	10月	消防団員定数改正６７１名
	11月	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車購入　消防署に配置
	12月	消防総合通信システム３ケ年整備計画、初年度事業費34,700千円
昭和 61年 (1986)	3月	消防団２の６分団器具置場新築移転
	4月	７代消防長事務取扱　斉藤光平氏就任（市助役）
	6月	８代消防長　竹本仁氏就任
		消防団員定数改正６４０名
	7月	第１５回消防救助技術関東大会（高所人命救助）１位
	8月	第１５回消防救助技術全国大会（高所人命救助）２位
	10月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　４の６分団に配置
	12月	救急自動車(２Ｂ型)購入　中央分署に配置
		消防総合通信システム第２年度事業費14,110千円
		水槽付(1,700ℓ)消防ポンプ自動車購入　中央分署に配置
昭和 62年 (1987)	4月	４代消防団長　髙梨眞一郎氏就任
		消防本部・署機構改革
		救急自動車(２Ｂ型)装備一式利根コカコーラ株式会社から寄贈　消防署に配置
	11月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅱ)購入　１の２分団に配置
	12月	消防総合通信システム第３年度(地図検索装置)事業費15,500千円
昭和 63年 (1988)	2月	消防団５の２分団器具置場新築
	11月	３代消防委員長　茂木克己氏就任
	12月	小型動力ポンプ付水槽車(10ｔ)購入　消防署に配置
平成 元年 (1989)	2月	野田市消防防災協会創立30周年記念事業として乗用車１台寄贈、本部に配置
	3月	消防団２の５分団器具置場新築移転
	8月	ひとり暮らし老人等緊急通報システム運用開始
	9月	小型動力ポンプ付積載車購入　５の４分団に配置
		小型動力ポンプ積載車３台購入　２の７、３の３、６の４分団に配置
	12月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅱ)購入　１の５分団に配置
平成 2年 (1990)	3月	消防団専用波無線局導入(団長局１局　携帯局６局)
	7月	広報車(日産)購入　本部予防課に配置
		小型動力ポンプ(Ｂ－３)３台購入　２の３、５の７、５の８分団に配置
		第１９回消防救助技術関東大会（高所人命救助）３位
	10月	小型動力ポンプ積載車購入　４の１分団に配置
		小型動力ポンプ付積載車購入　５の６分団に配置
		指揮車(トヨタ)購入　本署に配置
	11月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　４の２分団に配置
		消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅱ)購入　１の７分団に配置
平成 3年 (1991)	3月	消防団１の３分団器具置場新築
	4月	９代消防長　飯塚計男氏就任
	5月	野田ロータリークラブ及び野田東ロータリークラブから消防団指揮車（日産）を寄贈 団本部に配置
	7月	第２０回消防救助技術関東大会（高所人命救助）出場
	8月	第２０回消防救助技術全国大会（高所人命救助）２位
	9月	救急自動車(２Ｂ型)購入　北分署に配置
		消防ポンプ自動車２台購入　１の３、１の４分団に配置
		小型動力ポンプ付積載車２台購入　３の１,６の２分団に配置

	10月	水槽付(1,500ℓ)消防ポンプ自動車２台購入　消防署、北分署に配置
	12月	消防団１の４分団器具置場新築
平成 4年　(1992)	4月	消防本部機構改革、警防課を設置　総務、予防、警防の３課制とする
		消防団員定数改正６３６名
	7月	第11回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で５の４分団優秀賞
	10月	小型動力ポンプ付積載車５台購入　３の４、４の３、４の４、５の２、５の３分団に配置
平成 5年　(1993)	3月	望楼撤去
	4月	１０代消防長　倉持義夫氏就任
		消防職員定数改正１１５名
	5月	消防旗作成
		第４２回利根川水系連合水防演習実施
	7月	第12回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団優良賞
		第２２回消防救助技術関東大会（斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助）２位
	8月	第２２回消防救助技術全国大会（斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助）出場
		消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　１の６分団に配置
		救急自動車(２Ｂ型)購入　消防署に配置
	9月	小型動力ポンプ付積載車４台購入　２の１、３の２、５の５、６の６分団に配置
		小型動力ポンプ積載車購入　２の３分団に配置
		消防署の機構改革を行い２部制勤務から３部制勤務とする
平成 6年　(1994)	7月	第２３回消防救助技術関東大会（斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助）２位
	8月	第２３回消防救助技術全国大会（斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助）出場
	10月	小型動力ポンプ付積載車９台購入　２の２、２の４、２の８、３の５、４の５、５の１、６の１、６の３、６の５分団に配置
		小型動力ポンプ積載車２台購入　５の７、５の８分団に配置
	11月	救急自動車(２Ｂ型)購入　中央分署に配置
	12月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　２の５分団に配置
平成 7年　(1995)	3月	消防庁長官より消防表彰旗が授与される
	6月	消防委員会条例制定
	7月	第14回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団優良賞
		〃　小型ポンプの部で５の６分団優秀賞
		小型動力ポンプ(Ｂ－３)購入　４の１、６の４分団に配置
		災害対策資機材等購入(化学防護服・超小型ﾃﾚﾋﾞｶﾒﾗｼｽﾃﾑ)
		第２４回消防救助技術関東大会（ほふく救出の部）１位
	8月	第２４回消防救助技術全国大会（ほふく救出の部）出場
	10月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　中央分署に配置
		化学消防ポンプ自動車(Ⅰ型)購入　北分署に配置
		水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ－Ａ型)購入　南分署に配置
	11月	消防本部・署庁舎耐震診断調査実施
	12月	救急自動車(２Ｂ型)購入　南分署に配置
平成 8年　(1996)	1月	野田ガス㈱より資機材搬送車２台寄贈
	3月	消防団２の１分団器具置場新築
		消防団３の１分団器具置場新築
		救助資機材等の購入(ｴｱｰﾃﾝﾄ1張・ﾁｪﾝｿｰ20台・ﾜﾝﾀｯﾁﾘﾔｶｰ44台)
	4月	１１代消防長　寺田茂氏就任
		５代消防団長　栗原正夫氏就任

	7月	第15回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団優良賞
		〃　　小型ポンプの部で５の４分団優秀賞
		第32回千葉県消防操法大会小型ポンプの部で５の４分団最優秀賞
		第25回消防救助技術関東大会(ほふく救出･斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助)出場
	8月	第25回消防救助技術全国大会(ほふく救出･斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助)出場
	10月	消防組織法改正に伴い野田市消防職員委員会を設置する
平成 9年 (1997)	2月	消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　消防署に配置
		消防ポンプ自動車(ＣＤ－Ⅰ)購入　１の１分団に配置
	7月	第16回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団優秀賞
		第33回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団優秀賞
		小型動力ポンプ(Ｂ－３)購入　２の７分団に配置
		第２６回消防救助技術関東大会（ほふく救出）１位
	8月	第２６回消防救助技術全国大会（ほふく救出）３位
平成 10年 (1998)	1月	高規格救急自動車購入　消防署に配置
	3月	消防団５の３分団器具置場新築
	6月	創立40周年記念として、野田市消防防災協会から連絡車１台寄贈、本部に配置
	7月	小型動力ポンプ(Ｂ－３)購入　３の３分団に配置
		消防本部・署庁舎耐震補強工事完了
	9月	４代消防委員会会長　髙梨兵左衛門氏就任
	11月	大型サイレンを欅のホール屋上に設置
平成 11年 (1999)	1月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ－A型)購入　中央分署に配置
	3月	消防団１の１分団器具置場新築移転
	7月	第18回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団最優秀賞
		第35回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で４の２分団優良賞
		第２８回消防救助技術関東大会（ほふく救出）出場
	12月	小型動力ポンプ(Ｂ－３)付積載車購入　２の６分団に配置
平成 12年 (2000)	4月	１２代消防長　中山啓介氏就任
	7月	小型動力ポンプ（Ｂ－２）購入　消防署に配置
		第19回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で５の３分団最優秀賞
		第２９回消防救助技術関東大会（斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助）出場
	8月	災害対策車（クレーン付）購入　消防署に配置
	12月	消防団員にアポロキャップ貸与
平成 13年 (2001)	3月	消防団２の７分団器具置場新築
	7月	第20回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で５の２分団最優秀賞
平成 14年 (2002)	3月	消防団５の１分団器具置場新築
		救急自動車（２Ｂ型）購入　北分署に配置
	4月	消防職員定数改正１２４名
		１３代消防長　谷中卓美氏就任
		６代消防団長　寺田和雄氏就任
	7月	第21回東葛飾支部消防操法大会小型ポンプの部で５の８分団最優秀賞
平成 15年 (2003)	1月	高規格救急自動車購入　南分署に配置
	4月	ＢＡＮＤＯメディカルコントロール協議会設置
	5月	東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会設置
		第５２回利根川水系連合水防演習（関宿町で開催）参加

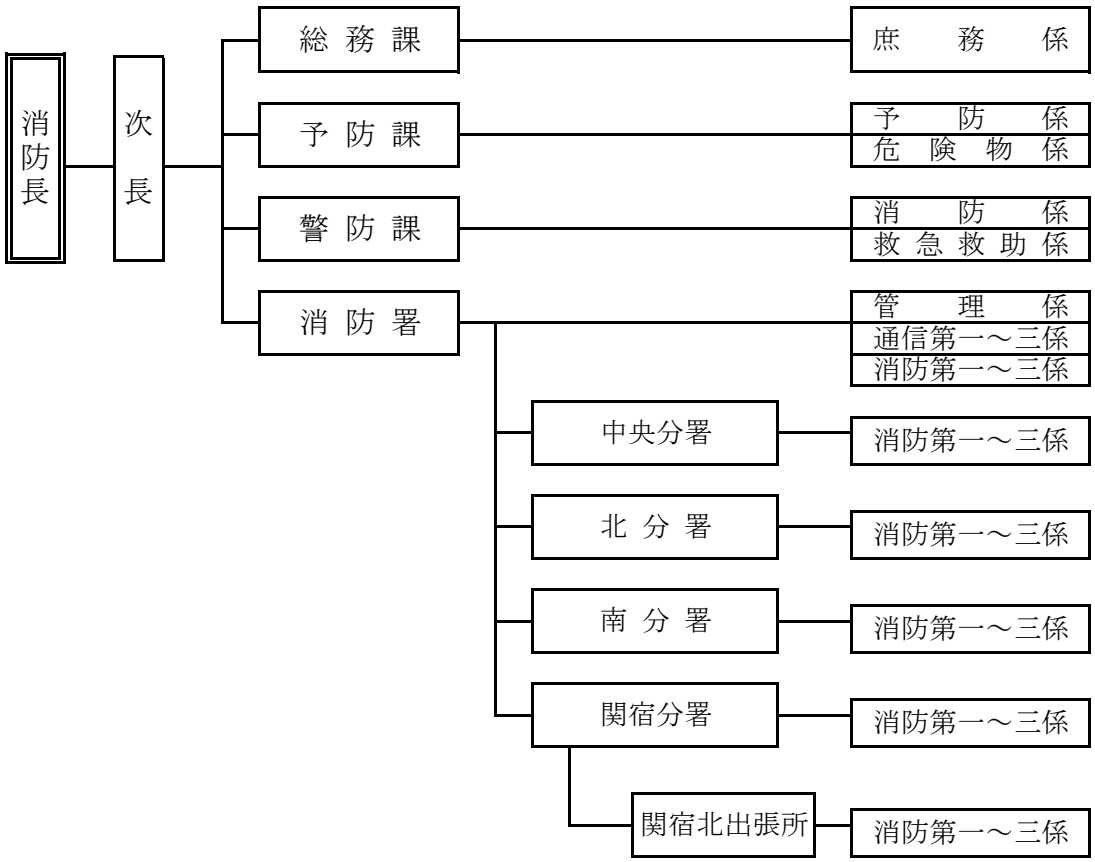
	6月	消防無線基地局改修
		６月６日関宿町を編入合併すると共に両消防団を統合する
		関宿町消防本部庁舎を関宿分署とし、１本部１署４分署体制となる
		消防職員定数改正１６３名、消防団員定数改正９４２名
	11月	自治体消防制度５５周年記念式典参加
平成 16年 (2004)	3月	小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型 10ｔ)購入　消防署に配置
		水槽付消防ポンプ自動車（Ｉ－Ａ型）・救急自動車（２Ｂ型）購入　関宿北出張所に配置
		消防通信指令装置「高機能消防指令センター」の整備
	7月	関宿北出張所庁舎新築　鉄筋コンクリート平屋建て244．37㎡ 建築費68,250千円　１本部１署４分署１出張所体制となる
		第３３回消防救助技術関東大会（斜めﾌﾞﾘｯｼﾞ救助）出場
	9月	消防団員定数改正８６０名
	12月	はしご車（35m）購入　消防署に配置
		救助工作車（Ⅱ型）購入　消防署に配置
平成 17年 （2005）	1月	野田市消防発足５０周年記念消防出初式を挙行
	3月	常備消防５０周年記念誌発行
		はしご車用車庫新築(消防署)　鉄骨造平屋建て98.82㎡
	10月	野田セントラルロータリークラブから指令車（三菱軽自動車）を寄贈　消防本部に配置
	12月	小型動力ポンプ付積載車８台購入　１１分団、１５分団、１７分団２部、２３分団１部、２６分団１部、２６分団２部、３４分団、３５分団に配置
平成 18年 （2006）	1月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ）５台購入　関宿分署、７分団、１９分団２部、２１分団、３２分団に配置
	3月	高規格救急自動車購入　中央分署に配置 （車体は社団法人日本自動車工業会より寄贈）
	4月	１４代消防長　張能和男氏就任
		７代消防団長　中野元市氏就任
	12月	消防団員用活動衣（860着）を更新整備　防寒衣（860着）を貸与
平成 19年 （2007）	2月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ）２台購入　３分団、４分団に配置
		小型動力ポンプ付積載車５台購入　１９分団１部、２４分団１部、２７分団、２８分団、３７分団に配置
	3月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）２台購入　消防署、北分署に配置
	7月	小型動力ポンプ付積載車２台購入　１３分団１部、１６分団２部に配置
	10月	女性消防団員任命
		消防団用指揮広報車購入　消防団本部に配置
	11月	高規格救急自動車購入　消防署に配置
平成 20年 （2008）	1月	予防査察車購入　予防課に配置
	3月	小型動力ポンプ付積載車７台購入　１４分団２部、２０分団１部、２０分団２部、２２分団２部、２２分団３部、２９分団、３３分団２部、に配置
	4月	１５代消防長　佐賀悦男氏就任
	5月	野田市消防防災協会創立５０周年記念事業として乗用車１台寄贈　消防本部に配置
	6月	第２７回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で２１分団最優秀賞
		〃　小型ポンプの部で２３分団１部最優秀賞
	7月	第４４回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で２１分団優秀賞
		〃　小型ポンプの部で２３分団１部努力賞
		消防団１８分団２部器具置場新築
	12月	高規格救急自動車購入　北分署に配置
		水槽付消防ポンプ自動車（Ｉ－Ａ型）購入　関宿分署に配置
平成 21年 （2009）	3月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ）購入　６分団に配置

		小型動力ポンプ付積載車７台購入　８分団1部、８分団３部、１４分団１部、１８分団２部、２３分団２部、２６分団２部、２７分団２部に配置
		消防団１７分団２部器具置場新築
	7月	第２８回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で１９分団２部努力賞
		〃　　小型ポンプの部で２２分団２部優秀賞
		第４５回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で２２分団２部優良賞
		第３８回消防救助技術関東大会（引揚救助）出場
	12月	高規格救急自動車購入　関宿分署に配置
		消防団用指揮車購入　中央分署に配置
平成 22年（2010）	3月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ）購入　９分団に配置
		小型動力ポンプ付積載車１３台購入　８分団２部、８分団４部、１２分団１３分団２部、１６分団１部、１７分団１部、１８分団１部、２０分団３部２２分団１部、２２分団４部、２４分団２部、２７分団３部、３０分団１部に配置
		消防団２５分団１部器具置場新築
	4月	８代消防団長　近藤利夫氏就任
	7月	第２９回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部２１分団優良賞
		〃　　小型ポンプの部で２２分団４部優秀賞
		第４６回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で２２分団４部努力賞
平成23年　(2011)	3月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ）３台購入　関宿分署、２５分団１部、２９分団１部に配置
		水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－A型）購入　南分署に配置
		指揮車購入　消防署に配置
		消防団２９分団１部器具置場新築
		東日本大震災に伴う緊急消防援助隊千葉県隊として、救急隊２隊、後方支援隊２隊　合計１１人を福島県福島市に派遣
	4月	１６代消防長　関根和明氏就任
		東日本大震災に伴う緊急消防援助隊千葉県隊として、救急隊２隊、後方支援隊２隊　合計１０人を福島県福島市に派遣
平成24年　(2012)	3月	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）購入　北分署に配置
		小型動力ポンプ付積載車購入　南分署に配置
		消防団２０分団３部器具置場新築
	4月	消防職員定数改正１６５名
	7月	指揮広報車購入　警防課に配置
	10月	５代消防委員会会長　寺田和雄氏就任
	12月	高規格救急自動車購入　南分署に配置
平成25年　(2013)	3月	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）２台購入　消防署及び１分団に配置 救助工作車（Ⅱ型）購入　関宿分署に配置
		消防団３０分団２部器具置場新築
	4月	１７代消防長　藤井文明氏就任
		千葉北西部消防指令センター運用開始
		野田市、流山市、松戸市、市川市、浦安市、鎌ヶ谷市
	6月	第３２回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で２１分団優秀賞
		〃　　小型ポンプの部で２３分団１部優秀賞
	7月	第４９回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で２１分団優良賞
	10月	高規格救急自動車購入　関宿北出張所に配置
平成26年　(2014)	3月	消防団２１分団器具置場新築
	4月	１８代消防長　深井芳人氏就任
		９代消防団長　中田弘二氏就任
		水難救助業務（潜水活動）開始（隊員１５名）

	7月	消防署中央分署及び北分署庁舎耐震診断調査実施
平成27年 (2015)	3月	水槽付消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）購入　中央分署に配置
		消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）購入　１０分団に配置
		消防団器具置場新築　２５分団３部、２６分団３部
	6月	消防職員定数改正１７２名
		第３４回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で５分団優秀賞
		〃　小型ポンプの部で２４分団２部努力賞
	7月	第５１回千葉県消防操法大会ポンプ車の部で５分団最優秀賞
		消防長専用車更新（長期継続契約）　総務課に配置
	9月	野田市消防団協力事業所表示制度制定
	12月	高規格救急自動車購入　中央分署に配置
平成28年 (2016)	1月	野田市消防団条例一部改正
	3月	支援車（Ⅱ型）購入　消防署に配置
		消防団器具置場新築　１６分団２部、２８分団２部
	4月	１０代消防団長　染谷賢一氏就任
	6月	第３５回東葛飾支部消防操法大会ポンプ車の部で１９分団２部努力賞
		〃　小型ポンプの部で２２分団１部優良賞
	7月	人員搬送車（長期継続契約）　消防署に配置
平成29年 (2017)	3月	消防団器具置場新築　２５分団２部、３０分団１部
	6月	第３６回東葛飾支部消防操法大会　ポンプ車の部で２１分団努力賞
		小型ポンプの部で２３分団１部優秀賞
	7月	第５３回千葉県消防操法大会　小型ポンプの部で２３分団１部努力賞
	10月	救急普及啓発広報車　一般財団法人救急振興財団から寄贈　警防課に配置
	10月	高規格救急自動車購入　消防署に配置
平成30年 (2018)	3月	自治体消防制度７０周年記念式典参加
		消防団器具置場新築　１８分団１部、２０分団２部
	4月	１９代消防長　小島雅之氏就任
	6月	第３７回東葛飾支部消防操法大会　ポンプ車の部で１９分団２部努力賞
		小型ポンプの部で２２分団２部努力賞
	10月	高規格救急自動車購入　北分署に配置
平成31年 (2019)	3月	消防団器具置場新築　２７分団１部、２９分団３部
	4月	２０代消防長　菅野　透氏就任
		消防職員定数改正１８１名
令和元年 (2019)	5月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－Ａ型）購入　関宿北出張所に配置
	6月	消防委員会条例改正
		第３８回東葛飾支部消防操法大会　ポンプ車の部で２１分団優良賞
		小型ポンプの部で１７分団１部努力賞
	7月	第４８回消防救助技術関東大会（引揚救助）７位
	8月	第４８回消防救助技術全国大会（引揚救助）出場
	11月	高規格救急自動車購入　関宿分署に配置
令和2年 (2020)	2月	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車（総務省所管に属する無償貸付車両）５分団に配置
	3月	消防団器具置場新築　６分団、２７分団２部
		高機能救命ボート（緊急消防援助隊に係る国有財産等の無償使用）関宿分署に配置

総　　務

1 消防本部組織図



2 消防職員の配置

（平成３１年４月１日現在）

所属＼階級		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他の職員	計
本部	消防長	1								1
	次長		(1)							(1)
	総務課		2	2	4	3				11
	予防課		2	2	3	1				8
	警防課		2	2	2					6
	小計	1	6	6	9	4				26
消防署	消防署		2	6	8	9	2	17	2	46
	中央分署		1	3	6	5		7		22
	北分署		1	3	6	3		9		22
	南分署		1	3	7	3	1	7		22
	関宿分署		1	3	4	9		11		28
	関宿北出張所			4	3			3		10
	小計		6	22	34	29	3	54	2	150
合計		1	12	28	43	33	3	54	2	176

※　次長は消防署長兼務、その他の職員は、再任用職員　　条例定数181名

3　署所配置図

境大橋
境町
五霞町
関宿北出張所
関宿橋
利根川
江戸川
宝珠花橋
下総利根大橋
いちいのホール
茨城県
関宿分署
利根川
坂東市
春日部市
北分署
金野井大橋
16
芽吹大橋
消防本部
消防署
埼玉県
川
七光台
江戸川
清水公園
中央分署
愛宕
市役所
野田橋
野田市
松伏町
梅郷
16
水堰橋
南分署
玉葉橋
運河橋
柏大橋
国道16号
柏市
吉川市
東武野田線
流山市

４　消防本部及び署所の施設概要

消　防　本　部　・　消　防　署

所在地	野田市宮崎１２６－２
敷地面積	２，３２７．００ｍ^2
建物構造	鉄筋コンクリート造
階　数	地上３階
延床面積	９９４．０９ｍ^2
竣工年月	昭和４５年６月

中　央　分　署

所在地	野田市中野台１７２
敷地面積	５０１．４３ｍ^2
建物構造	鉄筋コンクリート造
階　数	地上２階
延床面積	３２５．６０ｍ^2
竣工年月	昭和４６年４月

北　分　署

所在地	野田市船形１５５０－２
敷地面積	１，１７８．１７ｍ^2
建物構造	鉄筋コンクリート造
階　数	地上２階
延床面積	４５３．００ｍ^2
竣工年月	昭和５６年３月

南　分　署

所在地	野田市二ツ塚１３９－９１
敷地面積	１，３５８．５２ｍ^2
建物構造	鉄筋コンクリート造
階　数	地上１階
延床面積	３５１．６８ｍ^2
竣工年月	昭和６０年３月

関　宿　分　署

所在地	野田市東宝珠花４３５－１
敷地面積	３，６１６．１１ｍ^2
建物構造	鉄筋コンクリート造
階　数	地上２階
延床面積	１，２７６．００ｍ^2
竣工年月	平成３年３月

関　宿　北　出　張　所

所在地	野田市西高野４５１－４
敷地面積	６００．００ｍ^2
建物構造	鉄筋コンクリート造
階　数	地上１階
延床面積	２４４．３７ｍ^2
竣工年月	平成１６年７月

5　野田市の面積・人口・世帯数

（平成３１年４月１日現在）

人口	世帯数	面積
154,404	68,166	103.55k㎡

6　消防力と地勢の比較

（平成３１年４月１日現在）

消防吏員１人当たり			消防団員１人当たり			消防ポンプ自動車１台当たり		
（実員176人）			（実員638人）			（現有10台）		
人口	世帯数	面積（k㎡）	人口	世帯数	面積（k㎡）	人口	世帯数	面積（k㎡）
887	387	0.6	242	107	0.16	15,440	6,817	10.36

7　予算の推移（過去５年間）

（各年４月１日現在　単位：千円）

年度	一般会計当初予算 A	消防予算当初予算 B	構成比 B／A	消防予算内訳					市民１人当たり消防予算（円）
				常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	災害対策費	
27	50,597,000	1,951,639	3.9%	1,413,055	101,780	246,600	4,018	186,186	12,541
28	50,113,000	1,801,095	3.6%	1,458,401	99,885	153,988	28,630	60,191	11,610
29	47,060,000	1,848,280	3.9%	1,487,280	101,768	197,807	2,555	58,870	11,942
30	47,811,000	1,932,195	4.0%	1,518,651	100,006	266,624	3,427	43,487	12,518
31	49,087,000	1,893,395	3.9%	1,562,107	100,656	168,816	7,268	54,548	12,263

8 消防職員の勤続年数

（平成３１年４月１日現在）

階級 / 勤続年数	消防監	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	その他の職員	計
５年未満		1			1		29	2	33
５年以上10年未満	1					1	25		27
10年以上15年未満					12	2			14
15年以上20年未満				1	19				20
20年以上25年未満				7	1				8
25年以上30年未満				23					23
30年以上		11	28	12					51
合　　計	1	12	28	43	33	3	54	2	176

9 消防職員の年齢

（平成３１年４月１日現在）

階級 / 年齢	消防監	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	その他の職員	計
20歳未満							10		10
20歳以上25歳未満							27		27
25歳以上30歳未満					1	3	17		21
30歳以上35歳未満					12				12
35歳以上40歳未満				1	15				16
40歳以上45歳未満				4	5				9
45歳以上50歳未満				24					24
50歳以上55歳未満			10	12					22
55歳以上	1	12	18	2				2	35
合　　計	1	12	28	43	33	3	54	2	176

１０　委託教養

区分＼年度		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
消防大学校	警防科			1		
	救急科					
	救助科				1	
	危険物科					
	火災調査科	1	1			1
	消防団活性化推進コース					1
救急救命士(養　成)東京研修所		2	2	2	2	2
救急救命士(薬剤投与)九州研修所						
救急救命士(指導救命士)九州研修所		1	1	1	1	1
救急救命士(処置拡大追加講習)東京研修所		8				
千葉県消防学校	初任科	6	3	6	10	8
	危険物科					
	予防査察科(予防課程含む)					
	火災調査科		1	1	1	1
	救助科	2	2	2	2	2
	訓練指導科	2	1	2	2	2
	特殊災害科	2	2	2	2	2
	救急科 (救急標準課程・Ⅱ課程含む)	4	4	4	3	10
	救急救命士処置範囲拡大 ２行為追加講習	3	8	3		
	上級幹部科					
	中級幹部科		1	1	1	1
	幹部特別研修科					
	はしご自動車等講習会	3	2	2	2	2
	水難救助科					1
	一般救命士再教育					1
	救急隊長再教育					1
合計（人）		34	28	27	27	36

１１　免許・資格保有状況

種別			消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
運転免許	普通自動車	１種（3.5ｔ）				1			17	18
	準中型自動車	１種（5ｔ）					1		10	11
		１種（7.5ｔ）				3				3
	中型自動車	１種（８ｔ）	1	4	9	3	4			21
		１種（11ｔ）		1	10	2				13
	大型自動車	（11ｔ以上）		8	10	39	32	6	18	113
	大特	１種			3	3	1			7
		２種			1	1				2
	けん引自動車				1	3				4
	小型船舶	１級			1	2				3
		２級		3	10	14	17	3	5	52
		２級（湖川）				4				4
		特殊			2	1	1		1	5
危険物取扱者	甲種					2				2
	乙種	１類		1	1	3				5
		２類		1	2	2				5
		３類		1	1	4				6
		４類		1	5	7	30	6	38	87
		５類		1	1	4				6
		６類		1	1	3				5
	丙種				5	15	1			21
消防設備	甲種	特類				1				1
		１類				1				1
		２類				1				1
		３類				1				1
		４類				3				3
		５類				1				1
	乙種	１類		1		1				2
		２類		1		1				2
		３類				1				1
		４類		1	1	2				4
		５類		1		1				2
		６類		1	2	4				7
		７類				1				1
	点検資格者	第１種				1				1
		第２種				1				1
予防技術資格者	危険物				2	3	1			6
	消防用設備等			1		3				4
	防火査察			1	2	4				7
救急関係	指導救命士					4	1			5
	救命士			1	3	10	18	3	3	38
	救急隊員資格	標準（Ⅱ課程含む）		10	28	42	34	6	31	151
		Ⅰ課程		1						1
	応急手当指導員			6	24	30	31	6	34	131
	日赤水上安全救助員				1	1			4	6
	JPTEC	ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞｰ		1		2	7	2	25	37
		ﾌﾟﾚｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ					1	1	3	5
		ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ				5	3	1		9
	ICLSｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ					8	5			13
	MCLSｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ					4	1			5
労働安全衛生法	衛生工学衛生管理者			1				3		4
	第１種衛生管理者			1	1	1	1			4
	ガス溶接			2	15	2	1			20
	アーク溶接			1	2	4				7
	酸欠危険作業主任者			3	5	14	15		5	42
	特定化学物質等作業主任者				2	11	3			16
	足場作業主任者				3	1	1			5
	玉掛技能			4	7	13	15	4	6	49
	小型移動式クレーン			4	7	15	15	3	6	50
陸上無線	１級						2			2
	２級			10	28	19	1			58
	３級					22	27	6	44	99
その他	自動車整備士３級					1				1
	毒劇物取扱責任者			1	4					5
	高圧ガス製造保安責任者			2	3	3				8

（令和２年３月３１日現在）

１２ 消防本部(署) 事務分掌

総　務　課

(庶 務 係)

⑴　組織、制度及び基本施策の企画及び調整に関すること。
⑵　規程等の制定及び改廃に関すること。
⑶　公印の管守に関すること。
⑷　文書の収受、発送及び保存に関すること。
⑸　予算及び決算に関すること。
⑹　国及び県の支出金に関すること。
⑺　職員及び団員の任免等人事に関すること。
⑻　職員及び団員の福利厚生及び給貸与品に関すること。
⑼　職員、団員等の表彰に関すること。
⑽　職員の研修に関すること。
⑾　職員、団員等の公務災害補償に関すること。
⑿　消防団協力事業所表示制度に関すること。
⒀　野田市消防委員会、消防長会等に関すること。
⒁　庁用財産の維持管理、物品の購入及び保管並びに出納に関すること。
⒂　公用自動車等の事故に関すること。
⒃　職員の給与及び団員の報酬等に関すること。
⒄　他課署の所管に属さないこと。

予　防　課

(予 防 係)

⑴　災害予防計画に関すること。
⑵　水火災予防思想の普及、啓発及び指導に関すること。
⑶　建築確認等の同意に関すること。
⑷　消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
⑸　予防査察に関すること。
⑹　屋外における火災予防措置等に関すること。
⑺　防火対象物の使用開始に関すること。
⑻　防火管理者等の講習及び指導育成に関すること。
⑼　自主防災組織の指導育成に関すること。
⑽　野田市火災予防条例（昭和37年野田市条例第3号）に基づく届出に関すること。
⑾　火災の統計に関すること。
⑿　その他予防に関すること。
⒀　課の庶務に関すること。

(危険物係)

⑴　危険物及び少量危険物に関すること。
⑵　危険物製造所等の火災の予防及び施設の維持管理等の指導に関すること。

⑶　高圧ガスに関すること。
⑷　火災の原因及び損害額の調査に関すること。
⑸　罹災証明に関すること。
⑹　消防防災協会の指導育成に関すること。
⑺　その他危険物取扱者の指導育成に関すること。

警　防　課

（消 防 係）

⑴　消防計画に関すること。
⑵　消防団の運営及び管理に関すること。
⑶　消防水利に関すること。
⑷　消防相互応援協定に関すること。
⑸　消防施設及び装備の整備計画及び維持管理に関すること。
⑹　消防機器の設計に関すること。
⑺　消防統計に関すること。
⑻　団員の研修及び教養訓練に関すること。
⑼　消防儀式に関すること。
⑽　開発行為の事前協議に関すること。
⑾　その他警防に関すること。
⑿　課の庶務に関すること。

（救急救助係）

⑴　救急救助業務の計画及び訓練指導に関すること。
⑵　救急救助機器及び資器材の整備計画及び維持管理に関すること。
⑶　救急救助機器の設計に関すること。
⑷　救急医療機関等に関すること。
⑸　救急救助の統計に関すること。
⑹　その他救急救助に関すること。

消　防　署

（管 理 係）

⑴　公印の管守に関すること。
⑵　文書の収受及び保存に関すること。
⑶　署員の勤務配置に関すること。
⑷　職員の教養訓練及び福利厚生に関すること。
⑸　庁舎及び物品の管理に関すること。
⑹　火災予防上の届出及び調査指導に関すること。
⑺　消防記録に関すること。
⑻　音楽隊に関すること。
⑼　消防署の庶務に関すること。
⑽　その他、他の係に属しないこと。

（消防第一係、消防第二係、消防第三係）

⑴　水、火災の警戒及び鎮圧に関すること。
⑵　救急救助業務に関すること。
⑶　消防機械器具の維持管理に関すること。
⑷　地理、水利の調査に関すること。
⑸　予防査察に関すること。
⑹　火災原因及び損害額の調査に関すること。
⑺　消防訓練の指導に関すること。
⑻　自主防災組織の指導育成に関すること。

（通信第一係、通信第二係、通信第三係）

⑴　火災、救急救助及びその他災害の通報に係る受理に関すること。
⑵　千葉北西部消防指令センターとの連絡調整に関すること。
⑶　火災、救急救助及びその他災害出場に係る通信の統制に関すること。
⑷　火災、救急救助及びその他災害情報の収集及び伝達に関すること。
⑸　消防無線に関すること。
⑹　防災行政無線に関すること。
⑺　通信施設装備の維持管理に関すること。
⑻　気象情報の収集及び伝達に関すること。
⑼　その他消防通信に関すること。

分 署 ・ 出 張 所

（消防第一係、消防第二係、消防第三係）

⑴　水、火災の警戒及び鎮圧に関すること。
⑵　救急救助業務に関すること。
⑶　消防無線に関すること。
⑷　通信施設装備の維持管理に関すること。
⑸　消防機械器具の維持管理に関すること。
⑹　災害情報の収集及び伝達に関すること。
⑺　地理、水利の調査に関すること。
⑻　予防査察に関すること。
⑼　火災原因及び損害額の調査に関すること。
⑽　消防訓練の指導に関すること。
⑾　自主防災組織の指導育成に関すること。
⑿　分署の庶務に関すること

予　　防

1　防火対象物の現況

用途別 ＼ 区域別			中央地区	東部地区	南部地区	北部地区	川間地区	福田地区	関宿地域	計
1	イ	劇場、映画館等								
	ロ	公会堂又は集会場	13	12	17	9	8	7	12	78
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2	1	6	2		3	16
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗								
	ニ	カラオケボックス等の店舗	1	2						3
3	イ	待合、料理店の類								
	ロ	飲食店	30	24	20	14	10	1	10	109
4		百貨店、マーケット等	40	35	53	28	18	8	36	218
5	イ	旅館、ホテル等	41	10	3	3	9		5	71
	ロ	寄宿舎、共同住宅	239	131	485	161	158	15	63	1,252
6	イ	病院、診療所等	10	12	16	6	5	6	5	60
	ロ	老人福祉施設等	16	17	8	9	6	6	10	72
	ハ	老人デイサービスセンター等	11	23	14	4	6	5	15	78
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	3	4	9	2		6	26
7		小、中、高校、大学校等	29	16	52	21	14	9	20	161
8		図書館、美術館等	3						2	5
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等			2					2
	ロ	イ以外の公衆浴場								
10		車両の停車場等	2		1	1				4
11		神社、寺院、教会等	5	3	27	2	2	5	10	54
12	イ	工場又は作業場	71	62	29	95	65	113	270	705
	ロ	映画・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	4	12	7	1	3	3	8	38
	ロ	飛行機格納庫							2	2
14		倉庫	63	72	54	62	63	76	144	534
15		前各項に該当しない事業場	65	49	34	25	51	40	58	322
16	イ	特定の複合用途防火対象物	62	16	18	29	15	3	12	155
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	17	13	18	11	7	4	1	71
17		重要文化財建造物等	2							2
合計			728	514	863	496	444	301	692	4,038

2　中高層建築物及び地階を有する建築物

用途別＼階別			合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	地下1階	地下2階
1	イ	劇場、映画館等															
	ロ	公会堂又は集会場	3	1	2											1	
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等															
	ロ	遊技場又はダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗															
	ニ	カラオケボックス等の店舗															
3	イ	待合、料理店の類															
	ロ	飲食店	7	5	2												
4		百貨店、マーケット等	3	3													
5	イ	旅館、ホテル等	5	1	3					1						2	
	ロ	寄宿舎、共同住宅	182	115	35	19	3	3	2		1		2	1	1	8	
6	イ	病院、診療所等	21	15	3			3								3	
	ロ	老人福祉施設等	19	14	3		2									2	
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	1		1											
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1													
7		小、中、高校、大学校等	75	51	19	2	2		1							5	
8		図書館、美術館等	1		1												
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等														1	
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場等														1	
11		神社、寺院、教会等	15	9	3	1	1				1					13	1
12	イ	工場又は作業場	54	35	12	5	2									5	
	ロ	映画・テレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1													
	ロ	飛行機格納庫															
14		倉庫	35	21	10	2	1	1								4	
15		前各項に該当しない事業場	67	60	5		1			1						18	1
16	イ	特定の複合用途防火対象物	84	71	9	4										3	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	34	30	2	2										3	
17		重要文化財建造物等															
合計			609	434	109	36	12	7	3	2	2		2	1	1	69	2

3　建築同意事務処理状況

用途別＼月別			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	イ	劇場、映画館等													
	ロ	公会堂又は集会場													
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等													
	ロ	遊技場又はダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗													
	ニ	カラオケボックス等の店舗													
3	イ	待合、料理店の類													
	ロ	飲食店							2		1				3
4		百貨店、マーケット	2			1					1		2	1	7
5	イ	旅館、ホテル等			1										1
	ロ	寄宿舎、共同住宅		1	2	1	2	1	1	1	1				10
6	イ	病院、診療所等	1				1								2
	ロ	老人福祉施設				1		1							2
	ハ	老人デイサービスセンター等													
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		1	1		1								3
7		小、中、高校、大学校等	2											1	3
8		図書館、美術館等													
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等													
	ロ	イ以外の公衆浴場													
10		車両の停車場等											1	1	2
11		神社、寺院、教会等		1										1	2
12	イ	工場又は作業場	2	1	1	1						1			6
	ロ	映画・テレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫又は駐車場			1										1
	ロ	飛行機格納庫													
14		倉庫			1	1	2		1			1	1	2	9
15		前項に該当しない事業場		1	1			1	2					1	6
16	イ	特定の複合用途防火対象物		1					1	1		1		2	6
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物													
17		重要文化財建造物等													
専用住宅				2	1	1	1					1	5	1	12
長屋住宅			5	6	1	1	5	3	5	2	4				32
その他			1	10	3	3	2	4	5	6	4	1	4	1	44
合計			13	24	13	10	14	10	17	10	11	5	13	11	151

新築	13	21	11	9	10	10	15	7	8	4	12	9	129
増築		2	1		1				1	1	1		7
改築													
その他		1	1	1	3		2	3	2			2	15
合計	13	24	13	10	14	10	17	10	11	5	13	11	151

4　消防法関係各種届出

月別 / 届出区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消火器設置届	8	4	6	9	4	7	6	8	6	6	3	9	76
屋内消火栓設置届			1	2		1		1	2	1		4	12
スプリンクラー設置届		2			1	1	1	1	1	1		1	9
特殊消火設備設置届													
屋外消火栓設置届	1			1	1								3
動力消防ポンプ設置届									1				1
自動火災報知設備設置届	1	3	8	8	3	3	9	11	8	11	8	10	83
ガス漏火災警報設備設置届													
漏電火災警報器設置届													
火災通報装置設置届		1	2		1	1					1	2	8
非常警報設備設置届	1		1	2		2	1	1	2	4		2	16
放送設備設置届		1	3	1				1			1		7
避難器具設置届		1	1	1				1					4
誘導灯設置届	1	2	5	7	2	2	4	2	4	1	2	6	38
誘導標識設置届		1		1		1	1		3	1	1		9
消防用水設置届													
連結散水設備設置届													
連結送水管設置届			1										1
非常コンセント設置届													
圧縮アセチレンガス等の届出		1	2	2	2	1	3	2			1	4	18
防火管理者選解任届出	21	20	10	18	15	13	18	20	11	7	29	12	194
消防計画作成（変更）届出	24	21	19	21	17	12	22	21	12	7	25	13	214
消防設備等点検結果報告	66	81	118	64	41	102	83	44	87	39	103	76	904
防火対象物点検結果報告	3	7	5	2	6	10	1	3	5	8	8	1	59
消防訓練実施報告	43	82	129	71	30	88	93	139	72	39	53	61	900
合　　計	169	227	311	210	123	244	242	255	214	125	235	201	2,556

5　火災予防条例関係届出

月別 / 届出区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
使用開始届	5	5	10	10	2	9	4	7	8	10	5	6	81
炉													
厨房設備													
温風暖房機													
ボイラー		2	1						1	2		2	8
乾燥設備								1					1
給湯湯沸設備		2					1		1			1	5
変電設備	2	1		1	1	2	1	5	3	2	3		21
発電設備	1			2	1	1			2		1	2	10
蓄電池設備			1			1	1				1	3	7
ネオン管等設備													
サウナ設備													
放電加工機													
ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ冷暖房機													
指定洞道													
露店等の開設届出	4	3	7	17	10	11	20	9	5		2	1	89
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為	8	8	4	8	6	4	10	14	22	15	2	2	103
煙火の打ち上げ又は仕掛け	4	7	2	15	4	5	4	1	3		2		47
催物の開催			1	1	2								4
水道の断水又は減水													
道路工事届	18	20	32	27	16	30	35	32	31	28	16	13	298
少量危険物			4	4	1	1	3		4		3	3	23
指定可燃物	2	1	1			3	1		1	2			11
禁止行為の解除申請	6	4	4	3			1		2	1	4	4	29
合　　計	50	53	67	88	43	67	81	69	83	60	39	37	737

6　防火管理者の選任状況等

用途別		種別	防火管理者要対象物数	防火管理者選任済数	消防計画書届出済数
1	イ	劇場、映画館等			
	ロ	公会堂又は集会場	77	72	64
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	15	15	15
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等の店舗	3	3	3
3	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	113	101	94
4		百貨店、マーケット等	178	156	142
5	イ	旅館、ホテル等	6	6	6
	ロ	寄宿舎、共同住宅	69	56	51
6	イ	病院、診療所等	23	23	22
	ロ	老人福祉施設等	67	62	56
	ハ	老人デイサービスセンター等	49	49	49
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	11	11	11
7		小、中、高校、大学校等	42	42	42
8		図書館、美術館等	4	4	3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	2	2	2
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10		車両の停車場等			
11		神社、寺院、教会等	17	12	10
12	イ	工場又は作業場	89	87	80
	ロ	映画・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場			
	ロ	飛行機格納庫			
14		倉庫	29	28	26
15		前項に該当しない事業場	116	107	82
16	イ	特定の複合用途防火対象物	121	83	63
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	18	14	10
17		重要文化財建造物等			
合計			1,049	933	831

7　甲種防火管理新規講習会実施状況

区分＼年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受講者数	54	123	108	88	46

8　予防査察

(1) 防火対象物

用途別＼年度別			対象物数	30年度	令和元年度
1	イ	劇場、映画館等			
	ロ	公会堂又は集会場	78	11	5
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	16	3	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等の店舗	3		2
3	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	109	7	19
4		百貨店、マーケット等	218	49	44
5	イ	旅館、ホテル等	71	1	7
	ロ	寄宿舎、共同住宅	1,252	5	
6	イ	病院、診療所等	60	2	4
	ロ	老人福祉施設等	72	7	13
	ハ	老人デイサービスセンター等	78	9	13
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	26		7
7		小、中、高校、大学校等	161		93
8		図書館、美術館等	5		3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	2		1
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10		車両の停車場等	4		
11		神社、寺院、教会等	54		2
12	イ	工場又は作業場	705	8	5
	ロ	映画・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場	38		1
	ロ	飛行機格納庫	2		
14		倉庫	534	7	1
15		前各号に該当しな事業場	322	1	5
16	イ	特定の複合用途防火対象物	155	13	6
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	71	2	
17		重要文化財建造物等	2		3
		防火対象物外			2
合計			4,038	125	237

(2) 危険物施設

製造所等の別＼年度別	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油（営業用）	給油（自家用）	販売	一般	
危険物施設数	30	98	112	2	83	1	96	43	34	45		74	618
平成30年度	8	36	65		43		84	7	21	23		32	319
令和元年度	11	18	54	1	23		79	11	32	16		19	264

9　危険物製造所等の数

製造所等の別＼年度別		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
製造所		30	30	30	30	29
貯蔵所	屋内貯蔵所	102	99	100	98	101
	屋外タンク貯蔵所	112	112	112	112	112
	屋内タンク貯蔵所	3	3	2	2	2
	地下タンク貯蔵所	92	89	84	83	84
	簡易タンク貯蔵所	1	1	1	1	1
	移動タンク貯蔵所	102	96	96	96	92
	屋外貯蔵所	39	41	43	43	43
取扱所	給油取扱所(営業用)	37	35	34	34	32
	給油取扱所(自家用)	42	42	45	45	46
	販売取扱所					
	一般取扱所	78	76	76	74	71
合計		638	624	623	618	613

１０ 数量・類別危険物製造所等の数

区分 / 製造所等の別		数量別								
		計	5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超えるもの
製造所		29	3	7	8	5	2	1	2	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	101	39	18	21	9	6	3	1	4
	屋外タンク貯蔵所	112	17	21	39	10	13	8	4	
	屋内タンク貯蔵所	2	1	1						
	地下タンク貯蔵所	84	27	21	15	9	7	1	3	1
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	92	22	4	30	28	2	1	5	
	屋外貯蔵所	43	6	24	13					
	小計	435	113	89	118	56	28	13	13	5
取扱所	給油取扱所	78	7	4	34	5	5	7	16	
	販売取扱所									
	一般取扱所	71	24	23	18	4			1	1
	小計	149	31	27	52	9	5	7	17	1
合計		613	147	123	178	70	35	21	32	7

区分 / 製造所等の別		類別						
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	混在
製造所					23			6
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	2		92	1		5
	屋外タンク貯蔵所				112			
	屋内タンク貯蔵所				2			
	地下タンク貯蔵所				84			
	簡易タンク貯蔵所				1			
	移動タンク貯蔵所				92			
	屋外貯蔵所				43			
	小計	1	2		426	1		5
取扱所	給油取扱所				78			
	販売取扱所							
	一般取扱所				71			
	小計				149			
合計		1	2		598	1		11

１１　月別危険物製造所等の許可・検査等の数

製造所等の別 ＼ 月別			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
設置・変更許可	製造所	設置														11
		変更	1			1	1	2		1	4	1			11	
	屋内貯蔵所	設置						1				1			2	2
		変更														
	屋外タンク貯蔵所	設置														3
		変更				3									3	
	屋内タンク貯蔵所	設置														
		変更														
	地下タンク貯蔵所	設置	1							1					2	7
		変更	1		3					1					5	
	簡易タンク貯蔵所	設置														
		変更														
	移動タンク貯蔵所	設置		1											1	1
		変更														
	屋外貯蔵所	設置														
		変更														
	給油取扱所	設置														9
		変更	1	1		1		2			1		1	2	9	
	販売取扱所	設置														
		変更														
	一般取扱所	設置														7
		変更			1	1	1	1	1		1	1			7	
小計		設置	1	1				1		1		1			5	40
		変更	3	1	4	6	2	5	1	2	6	2	1	2	35	
合計			4	2	4	6	2	6	1	3	6	3	1	2	40	

タンク水張検査	1			3					1		1	3	9	13
タンク水圧検査			1		1					2			4	
仮貯蔵・仮取扱				1							2	2	5	5
仮使用	3	1	3	3	1	4	1	3	5	3	2	2	31	31
製造所完成検査	2	1	1	1		1	1	1		2	1	2	13	40
貯蔵所完成検査	1	1	3	2	4	1							12	
取扱所完成検査	2		1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	15	
合計	9	3	9	12	8	7	3	5	8	8	7	10	89	89

１２　危険物製造所等の申請手数料

（単位：円）

区分／製造所等の別	許可		完成		仮使用	水張 水圧 検査	仮貯蔵 仮取扱	合計
	設置	変更	設置	変更				
製造所		411,500		231,250	75,600			718,350
屋内貯蔵所	59,000		20,000					79,000
屋外タンク貯蔵所		30,000		15,000	5,400			50,400
屋内タンク貯蔵所								
地下タンク貯蔵所	78,000	84,500	32,500	32,500	27,000			254,500
簡易タンク貯蔵所								
移動タンク貯蔵所	39,000		19,500					58,500
屋外貯蔵所								
給油取扱所		234,000	26,000	104,000	48,600			412,600
販売取扱所								
一般取扱所		183,500		75,250	10,800			269,550
水張 水圧 検査						123,000		123,000
仮貯蔵 仮取扱							27,000	27,000
手数料合計	176,000	943,500	98,000	458,000	167,400	123,000	27,000	1,992,900
申請件数	5	35	6	34	31	13	5	129

１３　火災予防広報活動

区分／月別	幼児防火指導		自主防災組織等防火指導		一般防火指導		小・中・高防火指導		消防署見学		計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
４月			2	162	8	356	1	250	3	172	14	940
５月			1	123	21	565			6	297	28	985
６月	2	128	8	457	17	1,015			6	269	33	1,869
７月			4	180	10	229			5	318	19	727
８月	1	13	4	141	3	105	1	50			9	309
９月	7	765	9	660	12	440	2	337	3	270	33	2,472
10月	10	862	12	1,167	23	1,488	1	30	3	136	49	3,683
11月	18	1,976	15	1,314	32	2,264	3	1,288	4	381	72	7,223
12月	4	211	9	573	14	839	4	1,852	2	102	33	3,577
１月					14	287	1	346	4	236	19	869
２月			1	80	17	443	1	72	3	131	22	726
３月					4	36					4	36
合計	42	3,955	65	4,857	175	8,067	14	4,225	39	2,312	335	23,416

１４　音楽隊活動

（１）　音楽隊編成

（平成３１年４月１日現在）

所属別／階級	総務課	予防課	警防課	消防署	中央分署	北分署	南分署	関宿分署	関宿北出張所	計
消防司令						1				1
消防司令補		2			1	1	1		1	6
消防士長		1			3	2	2	3		11
消防副士長				1			1			2
消防士			1	1	1		2			5
合　計		3	1	2	5	4	6	3	1	25

（２）　楽器の保有状況（音響設備含）

楽器名	数量	楽器名	数量	楽器名	数量
テナーサクソフォン	1	チューバ	1	エレキベースアンプ	1
アルトサクソフォン	1	スーザフォン	1	ドラムセット	1
ソプラノサクソフォン	1	ウッドコンガ	2	ミキシングコンソール	1
クラリネット	2	マーチングシンバル	1	モニタースピーカー	2
トランペット	4	コンサートシンバル	1	楽器用マイク	5
トロンボーン	3	マーチングスネヤドラム	1	ＰＡスピーカー	2
ユーフォニューム	1	エレキギター	1		
フレンチホルン	2	エレキベースギター	1		
卓上鉄琴	1	エレキギターアンプ	1		

（３）　活動状況

内容／月別	活動回数	内訳					
		練習回数		出演回数	出演内容		
		合同	パート別		消防関係	市関係	その他
４月							
５月	1	1					
６月	2		2				
７月	2	1	1				
８月	3	1	1	1		1	
９月	3	2	1				
１０月	3	2		1		1	
１１月	4	2		2	2		
１２月	3	1	2				
１月	3	1	1	1	1		
２月	2		2				
３月	1		1				
合　計	27	11	11	5	4	1	

警　　防

1　消防水利の現況

水利＼地区名	中央	東部	南部	北部	川間	福田	関宿	二川	木間ケ瀬	計
防火水槽 100㎥(以上)	2			2		1		1		6
〃　90㎥	2									2
〃　80㎥							1	2	1	4
〃　70㎥	2									2
〃　60㎥	2		1		1	1			2	7
〃　50㎥	3	2	1		2	3				11
〃　40㎥	54	76	97	61	88	94	30	84	106	690
〃　30㎥	4				2					6
〃　20㎥	16	3	4	8	3	3	7	9	14	67
〃　10㎥	6	11	6	12	23	7				65
〃　10㎥未満	1									1
防火水槽　(小計)	92	92	109	83	119	109	38	96	123	861
プ　ー　ル	4	5	4	6	3	4	1	3	2	32
消　火　栓	349	235	307	258	213	172	115	222	236	2,107
指定水利	7	6	2	3	5		1	1		25
合　計	452	338	422	350	340	285	155	322	361	3,025

うち耐震性防火水槽の設置状況

	容量	中央	東部	南部	北部	川間	福田	関宿	二川	木間ケ瀬	計
耐震性防火水槽	100㎥級				1		1				2
	40㎥級	13	14	15	19	42	28	2	7	10	150
	計	13	14	15	20	42	29	2	7	10	152

２　消防用車両の配置状況

所　　属	種　　別	車名	車　両　番　号	登録年月日
総務課	消防長車	ﾆｯｻﾝ	野田３３０す６００４	平成27/07/01
	連絡車	ｽｽﾞｷ	野田５８０す７５０２	平成24/09/03
予防課	広報車	ﾆｯｻﾝ	野田８３０つ６０００	平成20/01/29
	連絡車	ﾄﾖﾀ	野田５０１す３０９８	平成20/05/14
警防課	広報車	ﾆｯｻﾝ	野田８３０さ６００１	平成24/07/30
	司令車	ﾐﾂﾋﾞｼ	野田８８０あ　　４８	平成17/10/21
	連絡車	ﾐﾂﾋﾞｼ	野田４８０え４８６６	平成25/06/03
	救急普及啓発広報車	ﾆｯｻﾝ	野田８００す２２３９	平成29/10/30
消防署	指揮車	ﾄﾖﾀ	野田８００に１０００	平成23/03/09
	水槽付ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０ち１００１	平成19/03/05
	消防ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０せ１００２	平成25/02/25
	高規格救急車	ﾄﾖﾀ	野田８３０さ１０９９	平成29/10/20
	救助工作車	ﾋﾉ	野田８００は　２６５	平成16/12/03
	はしご車	ﾋﾉ	野田８００は　２６７	平成16/12/17
	小型動力ポンプ付水槽車	ﾐﾂﾋﾞｼ	野田８００は　２３６	平成16/03/09
	支援車	ﾋﾉ	野田８３０さ１００６	平成28/03/18
	人員輸送車	ﾆｯｻﾝ	野田２３０さ６００５	平成28/07/01
	人員輸送車	ﾆｯｻﾝ	野田５０１と５０６６	平成26/07/01
	連絡車	ﾆｯｻﾝ	野田５００む　６１５	平成17/05/20
	連絡車	ｽｽﾞｷ	野田　５０え８１０４	平成13/05/18
中央分署	水槽付ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０に２００１	平成27/01/15
	消防ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０さ５００２	平成23/03/11
	高規格救急車	ﾆｯｻﾝ	野田８３０さ２０９９	平成27/12/08
北分署	水槽付ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０さ３００１	平成19/03/05
	化学消防ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０さ３００２	平成24/02/27
	高規格救急車	ﾄﾖﾀ	野田８３０さ３０９９	平成30/09/20
	連絡車	ﾄﾖﾀ	野田　５５せ２０２１	平成10/04/28
南分署	水槽付ポンプ車	ﾋﾉ	野田８３０さ４００１	平成23/03/11
	高規格救急車	ﾆｯｻﾝ	野田８３０さ９９０４	平成24/12/21
	連絡車	ﾐﾂﾋﾞｼ	野田４８０え４８６７	平成25/06/03
関宿分署	水槽付ポンプ車	ｲｽｽﾞ	野田８３０さ５００１	平成20/12/15
	消防ポンプ車	ﾋﾉ	野田８００さ７８６３	平成17/11/17
	高規格救急車	ﾄﾖﾀ	野田８３０さ５０９９	令和01/11/05
	高規格救急車	ﾄﾖﾀ	野田８３０さ９９０１	平成19/11/28
	救助工作車	ﾋﾉ	野田８３０さ５００３	平成25/03/15
	災害対策車	ﾐﾂﾋﾞｼ	野田８００さ２１８５	平成12/08/22
関宿北出張所	水槽付ポンプ車	ｲｽｽﾞ	野田８３０せ５００４	平成31/04/24
	高規格救急車	ﾆｯｻﾝ	野田８３０さ９９０６	平成25/10/29
	連絡車	ｽﾊﾞﾙ	野田　４０う８９７３	平成14/05/22

3　資機（器）材一覧表

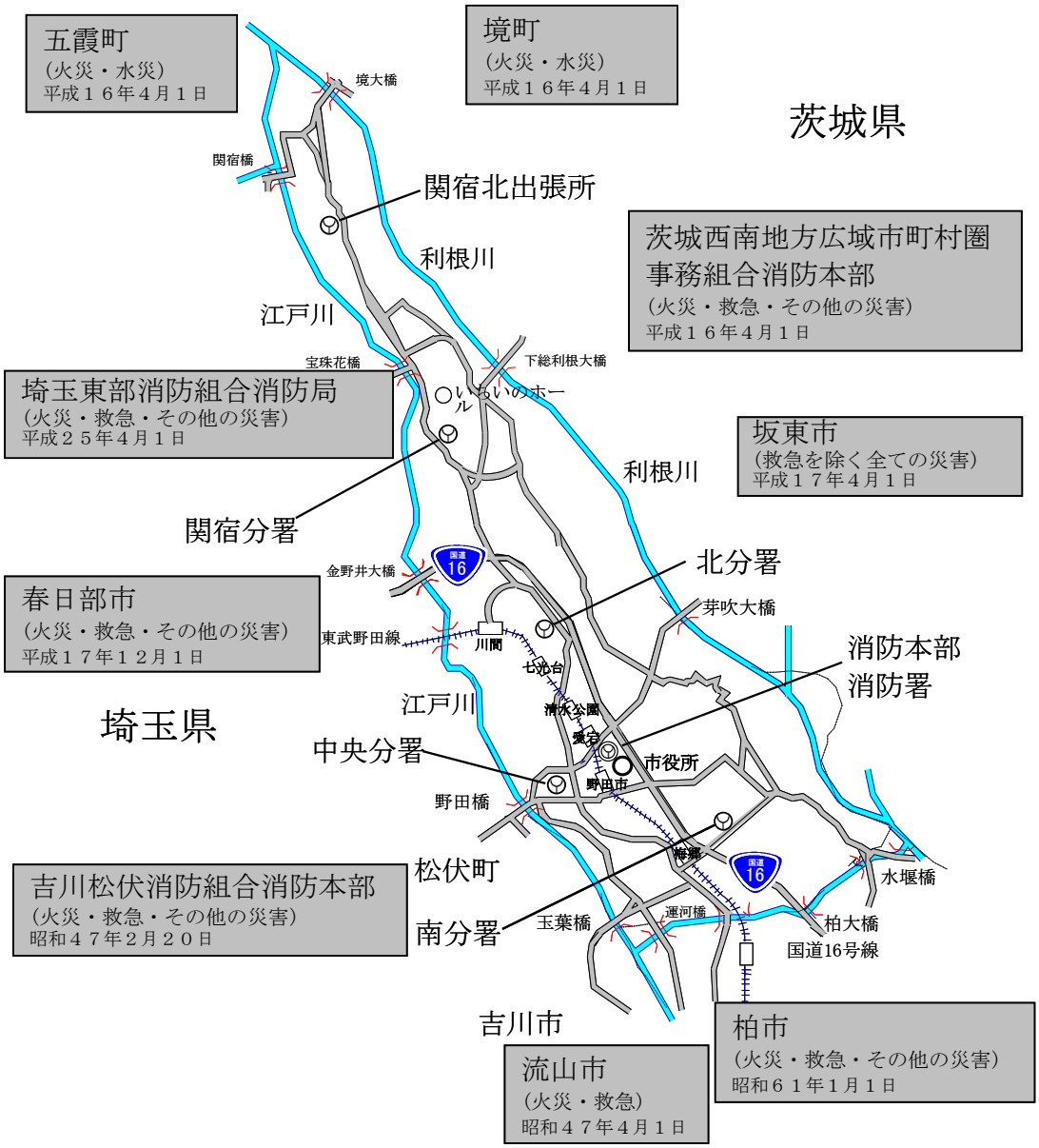
資機材名	配置						資機材名	配置					
	消防署	中央分署	北分署	南分署	関宿分署	出張所関宿北		消防署	中央分署	北分署	南分署	関宿分署	出張所関宿北
一般救助用							**検知・測定用**						
かぎ付はしご	4	1	2		3		可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	1
三連はしご	3	2	2	1	2	1	有毒ガス測定器	3	1	1	1	2	1
金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	1				1		酸素濃度測定器	2	1	1	1	1	1
空気式救助マット	1				1		放射線測定器	5	2	1	2	2	1
救命索発射銃	2				1		**呼吸保護用**						
救助用縛帯	9	1	1	1	7	1	空気呼吸器(29.4MPa)	16	7	9	4	11	3
平担架	1						予備ボンベ(14.7MPa)	11	1			13	
重量物排除用							予備ボンベ(29.4MPa)	31	8	8	4	3	3
油圧ジャッキ	11	3	3	1	7	3	簡易呼吸器	2					
油圧スプレッダー	1				2		防塵マスク	10			3	5	
可搬ウィンチ	2				3		送排風機	3	2	2	1	1	1
マンホール救助器具	1				1		**隊員保護用**						
マット型空気ジャッキ一式	1				2		耐電手袋	8	5	4	5	7	2
大型油圧スプレッダー	1	1	1	1	2		耐電衣一式	3	2	1	1	4	
救助用支柱器具	1						防塵メガネ	13	12	11	22	16	9
切断用							携帯警報機	13	1	2	1	9	
エンジンカッター	4	3	2	1	4	2	放射線個人線量計	17	3	2	2	3	2
チェーンソー	5	7	5	5	6	2	防毒マスク	10	3	3	3	10	3
鉄線カッター	9	4	4	4	8	2	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	19	14	8	7	16	3
空気鋸	1	1			1		陽圧式化学防護服	2				2	
大型油圧切断機	2	1	1	1	2		耐熱服	2		2			
酸素切断機	1				1		放射線防護服	2					
破壊用							**検索用**						
万　能　斧	15	3	5	2	11	3	簡易画像探索機					1	
ハンマー	4	1	1	8	4	1	画像探索機	1					
携帯用コンクリート破壊器具	1				1		**除染用**						
削　岩　機	2				2		除染シャワー	1				1	
ハンマドリル	2				2		除染散布機	1				1	

資機材名	配置						資機材名	配置					
	消防署	中央分署	北分署	南分署	関宿分署	出張所関宿北		消防署	中央分署	北分署	南分署	関宿分署	出張所関宿北
水難救助用							ロングバッグボード	11	7	5	5	6	4
潜水器具一式	8						脊椎固定具	4	1	4	1	3	3
救命胴衣	19	10	7	10	15	7	救急分娩セット	1	1	1	1	2	1
救命浮環	6		1	2	5	1	**搬送用**						
救命ボート	1	1	1	1	2	1	ストレッチャー	1	1	1	1	2	2
船外機	1				2		スクープストレッチャー	1	1	1	1	3	2
山岳用							布担架	4	9	4	2	4	4
バスケット担架	2				3		**消毒用**						
観察用							紫外線殺菌灯						1
体温計	11	8	6	6	11	6	自動式滅菌器	1				1	
検眼ライト	7	5	3	5	10	2	**通信用**						
血圧計	5	5	3	5	9	5	心電図伝送装置	1		1		2	
聴診器	16	5	4	4	8	6	携帯電話	4	3	3	3	5	2
血中酸素飽和度測定器	8	4	2	4	7	5	**その他**						
心電計	3	2	3	2	3	2	洗眼器			1	1	1	
血糖値測定器	1	1	1	1	2		リングカッター	2	1	1	1	3	1
呼吸・循環管理用							**訓練用**						
自動式人工呼吸器一式	1	1	1	1	3	1	高度救急処置訓練人形	3		1	1	1	
手動式人工呼吸器一式	11	4	3	3	12	6	気道管理訓練モデル	1	1		1	2	
酸素吸入器一式	10	10	7	7	12	6	静脈路確保訓練モデル	1					
電動吸引器一式	4	3	2	3	5	1	**各種災害用**						
喉頭鏡	6	4	3	5	9	3	東消式発泡ネット		1	1		1	
マギール鉗子	8	7	4	4	13	6	化学消火薬剤	900	160	1000	120	200	140
自動式心マッサージ器		1		1	1		オイルフェンス	2					
半自動式除細動器	1	1	1	1	3	1	緊急時用浄水装置	1		1			
酸素ボンベ２L	13	11	8	8	15	8	温水器	1					
酸素ボンベ１０L	11	11	10	10	16	8	組立水槽(5t)	1	1	1			
災害多人数用 酸素吸入装置	1						組立水槽(2.5t)				6	5	
創傷等保護用							エアーテント	1				1	
陰圧副子一式	1	1	1	1	3	1							

4　応援協定

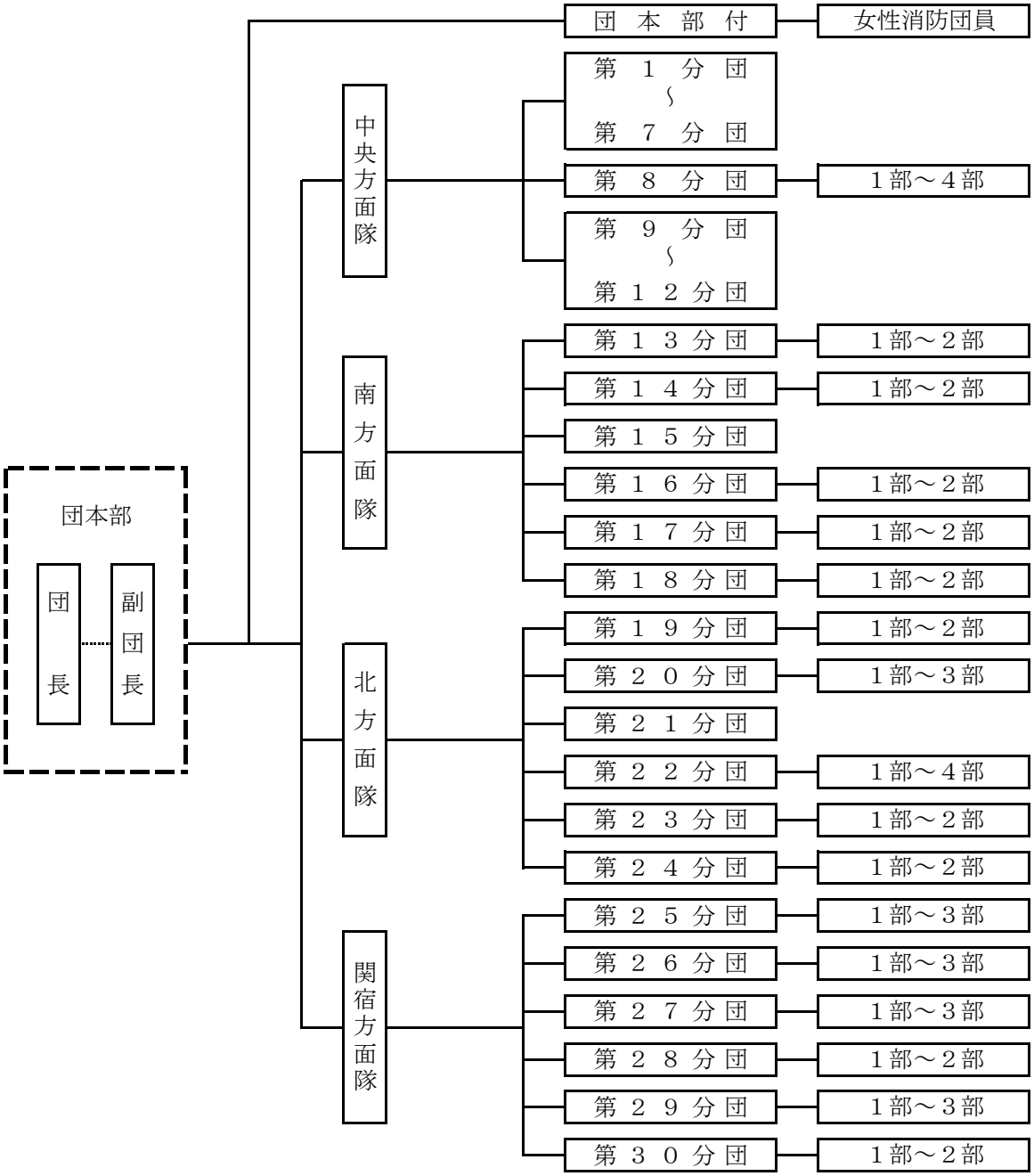
(1)　警察との協定
　　野田警察署と共助協定（昭和３６年７月締結）
(2)　消防組織法第３９条に基づく隣接市町との協定（下図）
(3)　千葉県広域消防相互応援協定
　　上記以外に、千葉県下の市町村及び一部事務組合と広域消防応援協定を締結
　　（平成４年４月１日締結）
(4)　野田建設業協同組合との協定
　　火災時における重機等の調達にかかる協定（平成９年１１月１９日締結）
(5)　県北建設業協同組合との協定
　　火災時における関宿地域の重機等の調達にかかる協定
　　（平成２４年１１月１５日締結）
(6)　千葉県野田健康福祉センター(野田保健所)との協定
　　感染症患者移送に関する協定(令和２年３月３１日締結)

※　消防相互応援協定内容は（　）に、協定施行日をその下に記載



消　防　団

1　消防団の組織



2　消防団員の配置

（平成３１年４月１日現在）

	団長	副団長	救護本部長	方面隊長	本部部長	方面副隊長	方面分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	3	(1)									7	11
中央方面隊		1		(1)		2	2	12	12	15	30	91	165
南方面隊		1		(1)		2	2	6	6	11	21	73	122
北方面隊		1		(1)		2	2	6	6	14	28	109	168
関宿方面隊		1		(1)		2	2	6	6	16	32	107	172
計	1	7	(1)	(4)		8	8	30	30	56	111	387	638

※　（　）は副団長を兼務

※　団本部団員は女性消防団員

3　消防団位置図

境大橋
第26分団2部
第25分団1部
第26分団1部
関宿橋
第25分団2部
関宿北出張所
第25分団3部
茨城県
第26分団3部
第27分団2部
第27分団1部
第27分団3部
第30分団1部
下総利根大橋
宝珠花橋
第30分団2部
埼玉県
第28分団1部
第29分団1部
第28分団2部
第29分団2部
関宿分署
第29分団3部
第23分団2部
第22分団3部
第23分団1部
第22分団4部
第24分団2部
第22分団2部
第24分団1部
第22分団1部
第19分団1部
国道16 ROUTE
第8分団4部
第19分団2部
金野井大橋
第9分団
第10分団
北分署
第20分団1部
芽吹大橋
第8分団3部
第20分団3部
川間
第8分団2部
七光台
第8分団1部
第20分団2部
第12分団
第21分団
第18分団2部
第7分団
清水公園
消防本部・消防署
第18分団1部
第3分団
愛宕
第6分団
市役所
第17分団2部
第2分団
中央分署
第16分団2部
野田市
第5分団
第16分団1部
野田橋
第17分団1部
第4分団
南分署
第1分団
梅郷
第11分団
水堰橋
国道16 ROUTE
第13分団2部
柏大橋
第13分団1部
運河橋
第14分団2部
玉葉橋
国道１６号線
第14分団1部
運河大橋
柏市
第15分団
東武野田線
流山市

4　各分団分担区域及び器具置場所在地

方面隊別	分　団　名	分　担　区　域	器具置場所在地	建築年月	面　　積
中央方面隊	第１分団	野田のうち下町、上花輪のうち太子堂	野田59-2	平成11/03	78.65 ㎡
	第２分団	野田のうち仲町	野田313-7	昭和43/08	119.24 ㎡
	第３分団	野田のうち上町	野田729	平成03/03	61.97 ㎡
	第４分団	上花輪（太子堂を除く）、上花輪新町	上花輪621-3	平成03/12	61.96 ㎡
	第５分団	中野台、中野台鹿島町	中野台407-1	昭和57/04	55.89 ㎡
	第６分団	堤台、桜の里一丁目、桜の里二丁目、桜の里三丁目、つつみ野一丁目、つつみ野二丁目	堤台483-1	令和02/03	77.18 ㎡
	第７分団	清水、清水公園東一丁目、清水公園東二丁目	清水254-2	昭和60/03	55.77 ㎡
	第８分団１部	目吹のうち１区及び２区	目吹394-1	平成08/03	59.62 ㎡
	第８分団２部	目吹のうち３区	目吹1408	昭和54/11	46.27 ㎡
	第８分団３部	目吹のうち４区及び６区	目吹1683	昭和53/01	57.82 ㎡
	第８分団４部	目吹のうち５区	目吹1986	昭和54/09	57.82 ㎡
	第９分団	鶴奉、柳沢、金杉	鶴奉61-2	平成01/03	49.47 ㎡
	第10分団	宮崎、横内	横内15-2	昭和61/03	49.60 ㎡
	第11分団	中根	中根31-1	平成13/03	60.89 ㎡
	第12分団	大殿井	大殿井312-3	昭和53/12	44.71 ㎡
南方面隊	第13分団1部	山崎のうち大和田、堤根の一部	山崎1401-2	平成08/03	79.49 ㎡
	第13分団2部	桜台、花井、堤根の一部、花井一丁目、桜木	桜台52-7	昭和54/04	42.65 ㎡
	第14分団1部	山崎のうち宿、里及び中地、みずき一丁目、みずき二丁目の一部	山崎1135-1	昭和52/11	56.01 ㎡
	第14分団2部	今上	今上1783-4	昭和52/04	37.18 ㎡
	第15分団	山崎のうち東新田、西新田、島及び大崎、山崎貝塚町、山崎梅の台、山崎新町、みずき二丁目の一部、みずき三丁目、みずき四丁目	山崎新町19-4	昭和52/11	42.96 ㎡
	第16分団1部	上三ケ尾、下三ケ尾	下三ケ尾549-1	昭和53/12	46.37 ㎡
	第16分団2部	西三ケ尾、二ツ塚	西三ケ尾664	平成28/03	77.18 ㎡
	第17分団1部	瀬戸、三ツ堀(保木間及び灰毛除く)	瀬戸814	昭和54/10	45.54 ㎡
	第17分団2部	瀬戸、三ツ堀のうち保木間及び灰毛	瀬戸970-1	平成21/03	64.95 ㎡
	第18分団1部	木野崎のうち本郷及び下町	木野崎812	平成30/03	67.89 ㎡
	第18分団2部	木野崎のうち鹿野、新町及び高根	木野崎1675-1	平成20/07	68.72 ㎡

方面隊別	分団名	分担区域	器具置場所在地	建築年月	面積
北方面隊	第19分団1部	谷津の一部、吉春の一部、谷吉	谷津1191-2	昭和50/02	57.78 ㎡
	第19分団2部	七光台、日の出町	七光台386-5	昭和50/05	67.48 ㎡
	第20分団1部	蕃昌、泉三丁目	蕃昌49	昭和54/10	40.57 ㎡
	第20分団2部	吉春の一部	吉春516-1	平成30/03	67.89 ㎡
	第20分団3部	谷津の一部、光葉町一丁目	谷津45-16	平成24/03	67.89 ㎡
	第21分団	岩名、五木、五木新田、岩名一丁目、岩名二丁目、春日町、五木新町、光葉町二丁目、光葉町三丁目	岩名1102-1	平成26/03	67.89 ㎡
	第22分団1部	船形のうち下、莚打、泉二丁目	船形151-1	平成14/03	67.07 ㎡
	第22分団2部	船形のうち中、泉一丁目	船形1172-2	昭和63/02	49.58 ㎡
	第22分団3部	船形のうち上	船形1998-2	平成10/03	67.07 ㎡
	第22分団4部	小山、長谷	小山3127	昭和54/12	49.57 ㎡
	第23分団1部	中里（阿部を除く）	中里556	昭和48/03 平成21/03改築	76.10 ㎡
	第23分団2部	中里のうち阿部	中里2332-1	昭和52/11	44.72 ㎡
	第24分団1部	尾崎、尾崎台	尾崎370-4	昭和60/04	71.21 ㎡
	第24分団2部	東金野井	東金野井1264-4	昭和55/01	98.32 ㎡
関宿方面隊	第25分団1部	関宿台町のうち上町及び中下町、関宿町	関宿台町266-1	平成22/03	77.18 ㎡
	第25分団2部	関宿江戸町の一部、関宿元町、関宿内町、はやまの一部	関宿元町88-1	平成29/03	77.18 ㎡
	第25分団3部	新田戸の一部、西高野、東高野、関宿江戸町飛地、関宿元町飛地、はやまの一部、平成の一部	新田戸508	平成27/03	67.89 ㎡
	第26分団1部	関宿台町のうち西町及び下納谷	関宿台町1672-4	昭和50/03	26.00 ㎡
	第26分団2部	関宿台町のうち上谷中、下谷中及び納谷、関宿三軒家、関宿江戸町の一部、平成の一部	関宿台町6214	平成04/03	32.40 ㎡
	第26分団3部	桐ケ作、平成の一部、新田戸の一部	桐ケ作11-11	平成27/03	67.89 ㎡
	第27分団1部	中戸、柏寺、中戸谷津	柏寺248-1	平成31/03	77.18 ㎡
	第27分団2部	古布内、なみき三丁目の一部	古布内1110-2	令和02/03	64.80 ㎡
	第27分団3部	親野井、次木、なみき一丁目、なみき二丁目、なみき三丁目の一部、なみき四丁目	なみき二丁目5-6	平成15/03	78.07 ㎡
	第28分団1部	東宝珠花、平井	東宝珠花551-1	昭和50/03	59.00 ㎡
	第28分団2部	木間ケ瀬のうち新宿、岡田、丸井、岡田新田	木間ケ瀬5060-3	平成28/03	67.89 ㎡
	第29分団1部	木間ケ瀬のうち小作、松ノ木及び砂南	木間ケ瀬3196-7	平成23/03	67.89 ㎡
	第29分団2部	木間ケ瀬のうち内野堤根、出州、〆切及び上納谷、木間ケ瀬新田	木間ケ瀬9356-1	平成08/03	57.96 ㎡
	第29分団3部	木間ケ瀬のうち志部前堀、下根及び大山	木間ケ瀬5871-4	平成31/03	67.89 ㎡
	第30分団1部	木間ケ瀬のうち向ノ内、鴻ノ巣及び羽貫	木間ケ瀬2114-1	平成29/03	67.89 ㎡
	第30分団2部	木間ケ瀬のうち前村、飯塚、武者土及び高倉	木間ケ瀬1008-1	平成25/03	67.89 ㎡

5　消防団員の在職年数

（平成３１年４月１日現在）

区分／年数	団長	副団長	救護本部長	方面隊長	本部部長	方面副隊長	方面分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
５年未満							2				14	149	165
５年以上 10年未満						2	1	8	6	20	43	116	196
10年以上 15年未満		1	(1)			1	2	14	13	28	50	81	190
15年以上 20年未満						1	2	8	11	8		33	63
20年以上 25年未満		1		(1)		1	1				3	8	14
25年以上 30年未満		1		(1)		2					1		4
30年以上	1	4		(2)		1							6
計	1	7	(1)	(4)		8	8	30	30	56	111	387	638

（　）は、副団長を兼務

6　消防団員の年齢

（平成３１年４月１日現在）

区分／年齢	団長	副団長	救護本部長	方面隊長	本部部長	方面副隊長	方面分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満													
20歳以上 30歳未満										1	5	54	60
30歳以上 40歳未満						1	2	13	13	23	59	192	303
40歳以上 50歳未満						3	3	15	16	29	44	124	234
50歳以上 60歳未満		2		(2)		4	3	2	1	3	3	15	33
60歳以上 70歳未満	1	5	(1)	(2)								2	8
70歳以上													
計	1	7	(1)	(4)		8	8	30	30	56	111	387	638

（　）は副団長を兼務

7　消防団車両等の配置状況

	分団名	種　　別	車種	ポンプ名	級別	車　両　番　号	登録年月日
本部	団本部	団指揮車	ﾆｯｻﾝ			野田８００ろ８０００	平成21/12/16
	団本部	指揮広報車	ﾆｯｻﾝ			野田８３０さ８００１	平成19/10/19
	団本部	小型ポンプ付積載車	ﾄﾖﾀ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ８００２	平成24/03/19
中央方面隊	第１分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ナカムラ消防化学	Ａ２	野田８０３に　　１	平成25/01/15
	第２分団	消防ポンプ車	ｲｽｽﾞ	小池	Ａ２	野田８００さ７１９９	平成17/01/20
	第３分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ネイチャー	Ａ２	野田８００ぬ　　３	平成19/02/09
	第４分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ネイチャー	Ａ２	野田８３０す　　４	平成19/02/09
	第５分団	消防ポンプ車	ｲｽｽﾞ	モリタ	Ａ２	野田８００め　　５	令和02/02/03
	第６分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	小池	Ａ２	野田８３０さ　６００	平成21/03/17
	第７分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	モリタ	Ａ２	野田８００つ　　７	平成18/01/26
	第８分団１部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０す　８０１	平成21/03/16
	第８分団２部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０す　８０２	平成22/03/04
	第８分団３部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ　８０３	平成21/03/16
	第８分団４部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ　８０４	平成22/03/03
	第９分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ネイチャー	Ａ２	野田８３０て　　９	平成22/03/11
	第１０分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ネイチャー	Ａ２	野田８３０ぬ　１０	平成27/03/25
	第１１分団	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８００さ７７０５	平成17/09/02
	第１２分団	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０す　１２	平成22/03/03
南方面隊	第１３分団１部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１３０１	平成19/07/27
	第１３分団２部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１３０２	平成22/03/04
	第１４分団１部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１４０１	平成21/03/16
	第１４分団２部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１４０２	平成20/03/06
	第１５分団	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８００さ７７０７	平成17/09/02
	第１６分団１部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１６０１	平成22/03/03
	第１６分団２部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１６０２	平成19/07/27
	第１７分団１部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１７０１	平成22/03/04
	第１７分団２部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８００さ７７０６	平成17/09/02
	第１８分団１部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１８０１	平成22/03/04
	第１８分団２部	小型ポンプ付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ１８０２	平成21/03/16

	分団名	種　　別	車種	ポンプ名	級別	車　両　番　号	登録年月日
北方面隊	第１９分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８３０さ１９０１	平成18/08/18
	第１９分団２部	消防ポンプ車	ﾋﾉ	モリタ	Ａ２	野田８３０さ１９０２	平成18/01/26
	第２０分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０な２００１	平成20/03/06
	第２０分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０そ２００２	平成20/03/06
	第２０分団３部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０せ２００３	平成22/03/03
	第２１分団	消防ポンプ車	ﾋﾉ	モリタ	Ａ２	野田８３０ち　　２１	平成18/01/26
	第２２分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２２０１	平成22/03/03
	第２２分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２２０２	平成20/03/06
	第２２分団３部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２２０３	平成20/03/07
	第２２分団４部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２２０４	平成22/03/04
	第２３分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８００さ７７０８	平成17/09/02
	第２３分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２３０２	平成21/03/16
	第２４分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８３０さ２４０１	平成18/08/18
	第２４分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０す２４０２	平成22/03/04
関宿方面隊	第２５分団１部	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ネイチャー	Ａ２	野田８３０さ２５０１	平成23/02/08
	第２５分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８００さ７８４６	平成17/11/11
	第２５分団３部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０せ　　２７	平成19/02/26
	第２６分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８００さ７８５０	平成17/11/11
	第２６分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２６０２	平成21/03/16
	第２６分団３部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２６０３	平成20/03/07
	第２７分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	ラビット	Ｂ３	野田８３０た　　２８	平成18/08/18
	第２７分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２７０２	平成21/03/16
	第２７分団３部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２７０３	平成22/03/03
	第２８分団１部	消防ポンプ車	ﾋﾉ	モリタ	Ａ２	野田８３０ち　　３２	平成18/01/26
	第２８分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８００さ７８４７	平成17/11/11
	第２９分団１部	消防ポンプ車	ﾋﾉ	ネイチャー	Ａ２	野田８３０す２９０１	平成23/02/08
	第２９分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０さ２９０２	平成20/03/07
	第２９分団３部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０す　　３７	平成19/02/26
	第３０分団１部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８３０す３００１	平成22/03/04
	第３０分団２部	小型ポンプ゛付積載車	ﾆｯｻﾝ	トーハツ	Ｂ３	野田８００さ７８４８	平成17/11/11

火 災 統 計

1　火災の状況

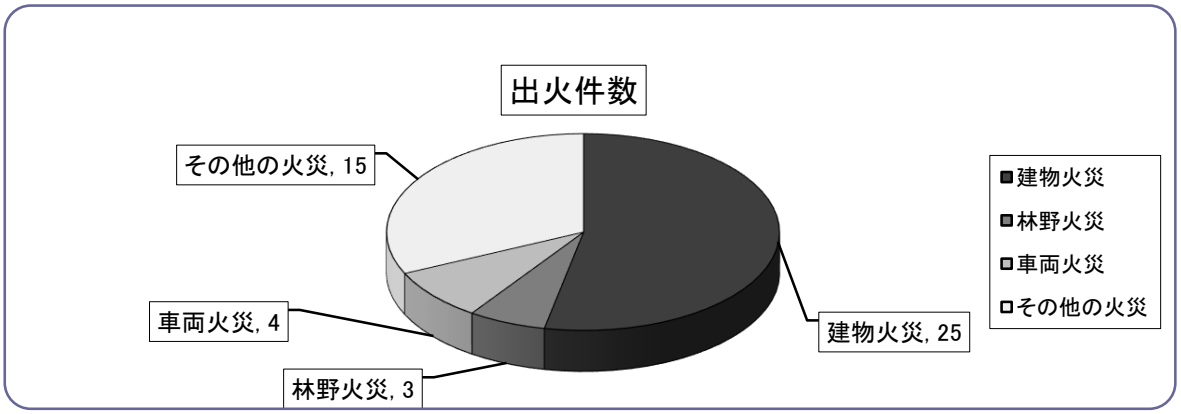
区　分	単　位	令和元年	平成３０年	増　減	増減率
		(A)	(B)	(A)－(B)＝(C)	(C)÷(B)×100%
出火件数	件	47	41	6	14.6
建物		25	27	△ 2	△ 7.4
林野		3	1	2	200.0
車両		4	2	2	100.0
その他		15	11	4	36.4
焼損棟数	棟	38	48	△ 10	△ 20.8
全焼		10	18	△ 8	△ 44.4
半焼		3	2	1	50.0
部分焼		5	16	△ 11	△ 68.8
ぼや		20	12	8	66.7
建物焼損床面積	㎡	1,375.25	1,668.52	△ 293.27	△ 17.6
建物焼損表面積		93.47	161.65	△ 68.18	△ 42.2
林野焼損面積	a	3.75	2.25	1.50	66.7
車両焼損台数	台	31	13	18	138.5
その他の枯草焼損面積	㎡	231,987.00	10,498.00	221,489.00	2,109.8
死者	人	2	3	△ 1	△ 33.3
負傷者		8	9	△ 1	△ 11.1
り災世帯数	世帯	18	45	△ 27	△ 60.0
全損		3	17	△ 14	△ 82.4
半損			1	△ 1	△ 100.0
小損		15	27	△ 12	△ 44.4
り災人員	人	41	85	△ 44	△ 51.8
損害額	千円	101,489	147,220	△ 45,731	△ 31.1
建物		91,201	144,888	△ 53,687	△ 37.1
林野			419	△ 419	△ 100.0
車両		9,920	1,322	8,598	650.4
その他		368	591	△ 223	△ 37.7
出火率	件	3.0	2.6	0.4	15.4

（注）１　死者には、火災により負傷した後、４８時間以内に死亡した者を含む。
　　２　出火率とは、人口１万人当たりの出火件数をいう。
　　３　△は、負数を示す。

2　出火件数

⑴　火災種別出火状況

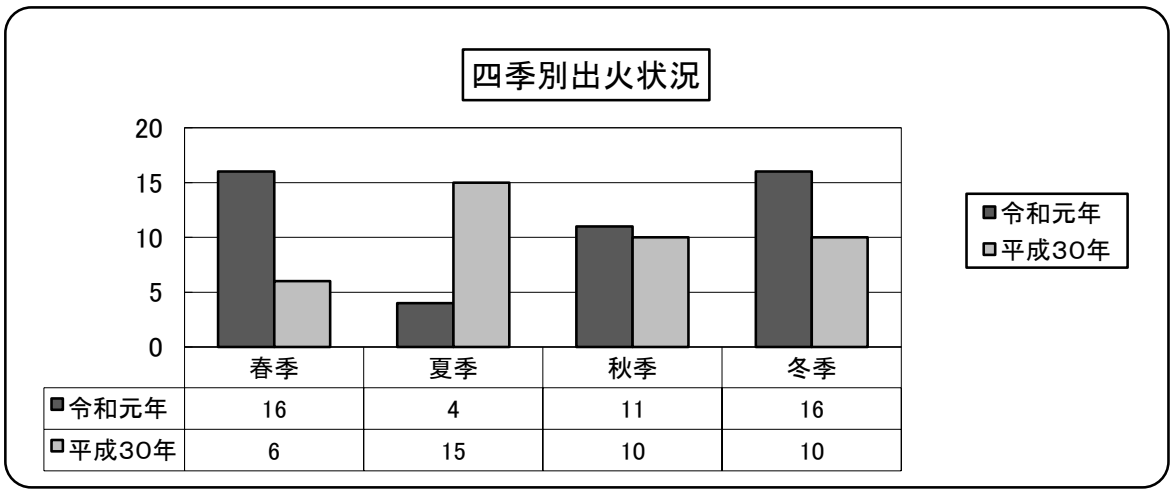
種別＼年別	令和元年		平成３０年	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
建　物　火　災	25	53.2	27	65.9
林　野　火　災	3	6.4	1	2.4
車　両　火　災	4	8.5	2	4.9
そ の 他 の 火 災	15	31.9	11	26.8
合　　計	47	100	41	100



⑵　四季別出火状況

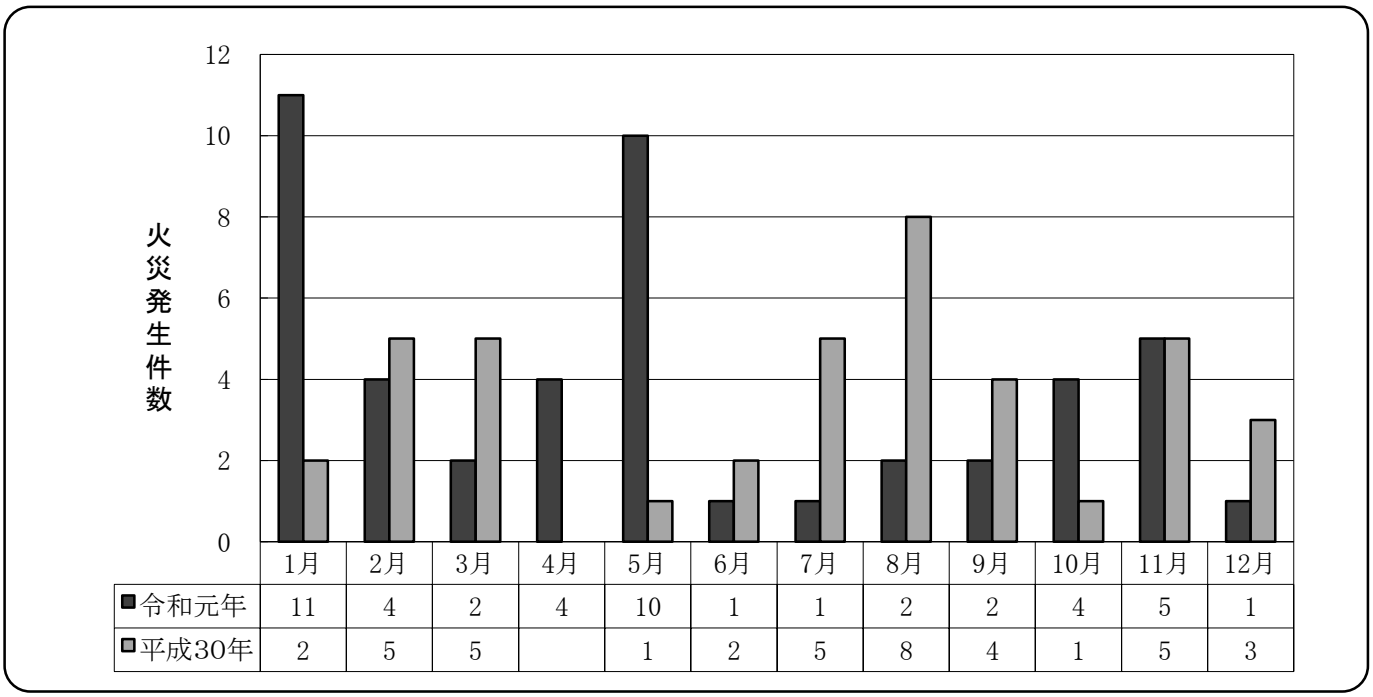
季別＼年別	令和元年				平成３０年			
	出火件数	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)	出火件数	割合(%)	損害額(千円)	割合(%)
春季 ３月～５月	16	34.0	31,604	31.1	6	14.6	34,378	23.4
夏季 ６月～８月	4	8.5	15,251	15.0	15	36.6	22,914	15.6
秋季 ９月～１１月	11	23.4	3,762	3.7	10	24.4	67,232	45.7
冬季 １２月～２月	16	34.0	50,871	50.1	10	24.4	22,696	15.4
合　　計	47	100	101,488	100	41	100	147,220	100

（注）１　冬季の１月及び２月は、当該年の数値である。
　　２　合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。



3 月別火災状況

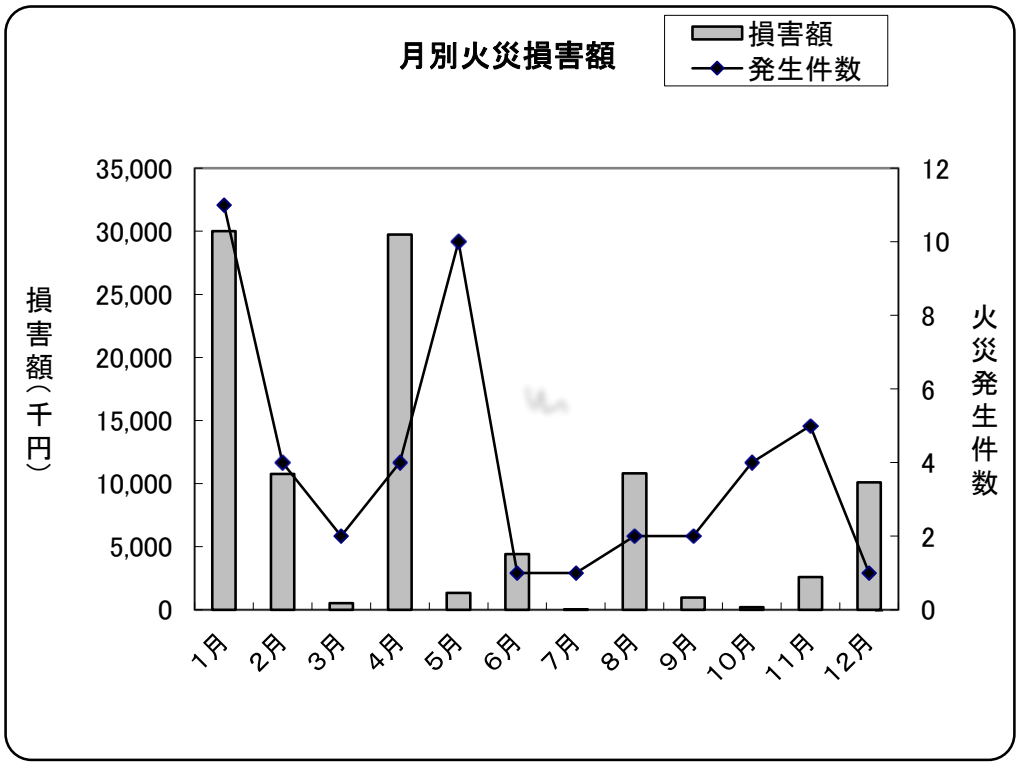
種別＼月別			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数			11	4	2	4	10	1	1	2	2	4	5	1	47
火災種別	建物		5	4	1	1	4	1	1	1	1	2	3	1	25
	林野					1	2								3
	車両									1	1		2		4
	その他		6		1	2	4					2			15
焼損棟数	火元建物	全焼		1		1				1			1	1	5
		半焼	1												1
		部分焼	1		1		1								3
		ぼや	2	3			2	1	1		1	2	2		14
		小計	4	4	1	1	3	1	1	1	1	2	3	1	23
	類焼建物	全焼	3	1			1								5
		半焼	1							1					2
		部分焼											2		2
		ぼや	1				1			1			1	2	6
		小計	5	1			2			2			3	2	15
合計			9	5	1	1	5	1	1	3	1	2	6	3	38
り災世帯数			3	1		1	4			1	2		5	1	18
り災人員			9	4		2	8			2	2		12	2	41
死者													2		2
負傷者			1	1				4				1		1	8
焼損面積	建物床面積(㎡)		526.87	193.89	26.40	238.61	109.31			88.86			87.19	104.12	1,375.25
	建物表面積(㎡)		4.63				1.60		0.50	52.64	0.80		33.30		93.47



4　火災による損害額

（単位：千円）

種別／月別	建物			林野	車両	その他	月別合計
	建築物	収容物	小計				
1月	9,517	20,042	29,559		453	9	30,021
2月	1,563	9,080	10,643		115		10,758
3月	124	400	524				524
4月	28,228	1,520	29,748				29,748
5月	1,090	242	1,332				1,332
6月		4,420	4,420				4,420
7月	2	24	26				26
8月	765	2,255	3,020		7,428	359	10,807
9月	1	15	16		948		964
10月		198	198				198
11月	1,417	232	1,649		950		2,599
12月	9,966	100	10,066		26		10,092
計	52,673	38,528	91,201		9,920	368	101,489



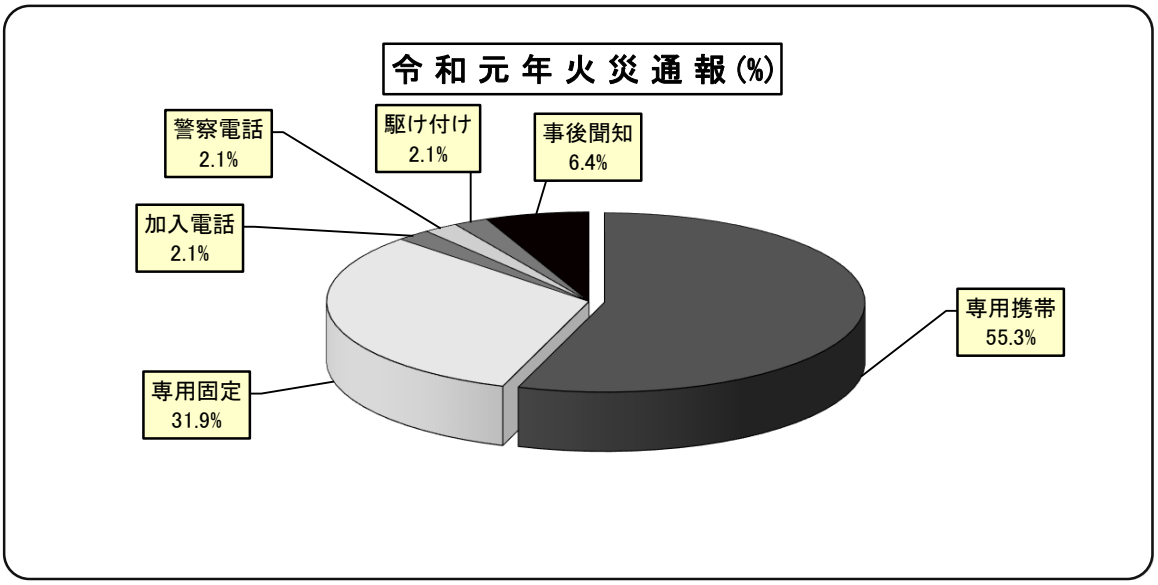
5　初期消火器具等の使用状況

年別 / 初期消火器具区分	令和元年 初期消火実施数	効果有り	割合(%)	平成３０年 初期消火実施数	効果有り	割合(%)	平成２９年 初期消火実施数	効果有り	割合(%)
粉末消火器	10	8	80.0	6	3	50.0	11	5	45.5
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	13	6	46.2	11	3	27.3	13	8	61.5
もみ消した							4	4	100.0
その他	7	1	14	2			4	4	100.0
合　計	30	15	50.0	19	6	31.6	32	21	65.6
初期消火活動なし	17			22			22		

6　火災の通報状況

種別 / 区分	件数	専用電話 固定電話	専用電話 携帯電話	加入電話 固定電話	加入電話 携帯電話	警察電話	駆け付け	事後聞知	その他
建　物　火　災	25	8	13	1				3	
林　野　火　災	3	1	2						
車　両　火　災	4	2	2						
その他の火災	15	4	9			1	1		
合　計	47	15	26	1		1	1	3	

※　専用電話(固定)にはNTT加入電話以外も含んでいます。

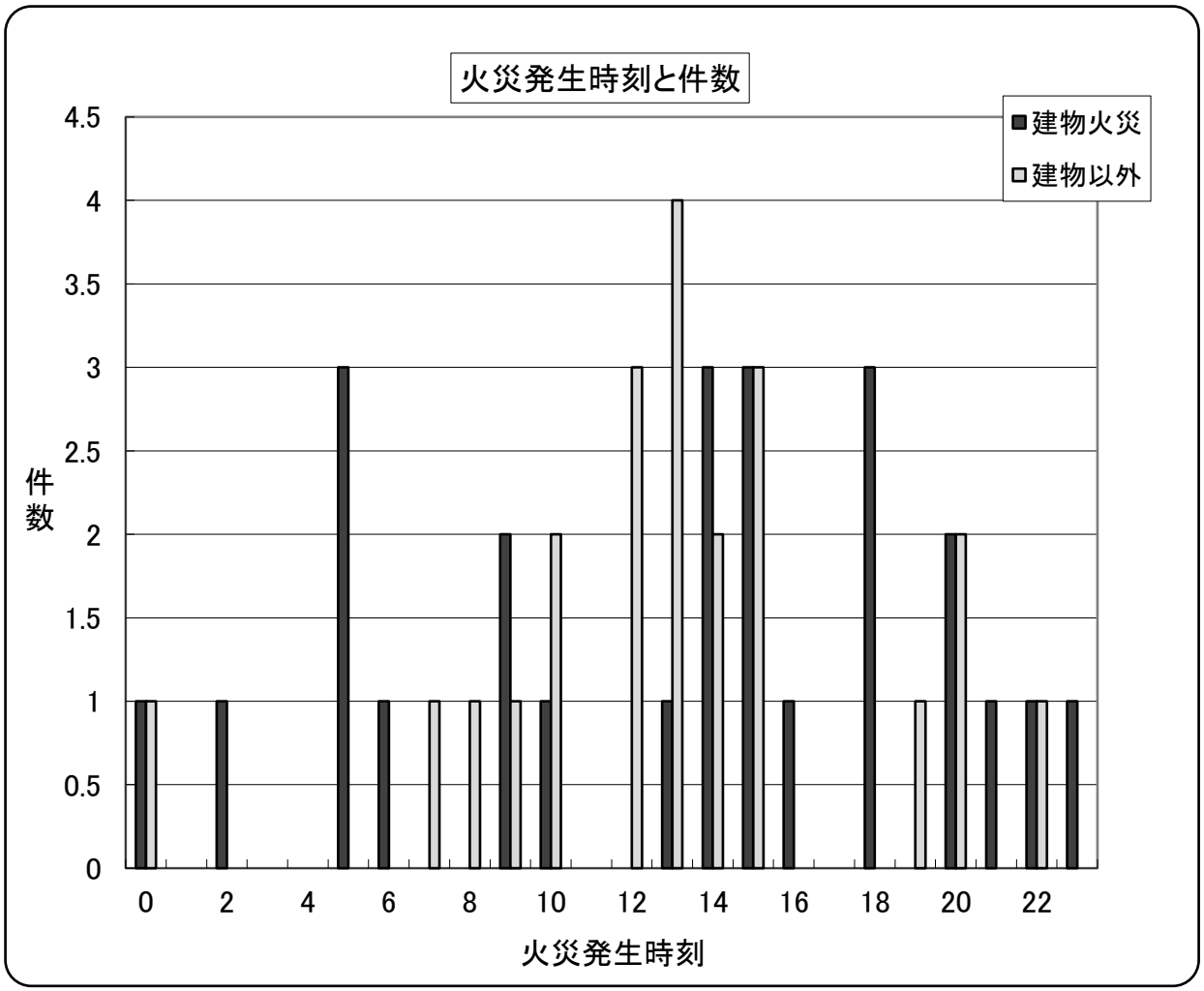


7　出火原因別状況

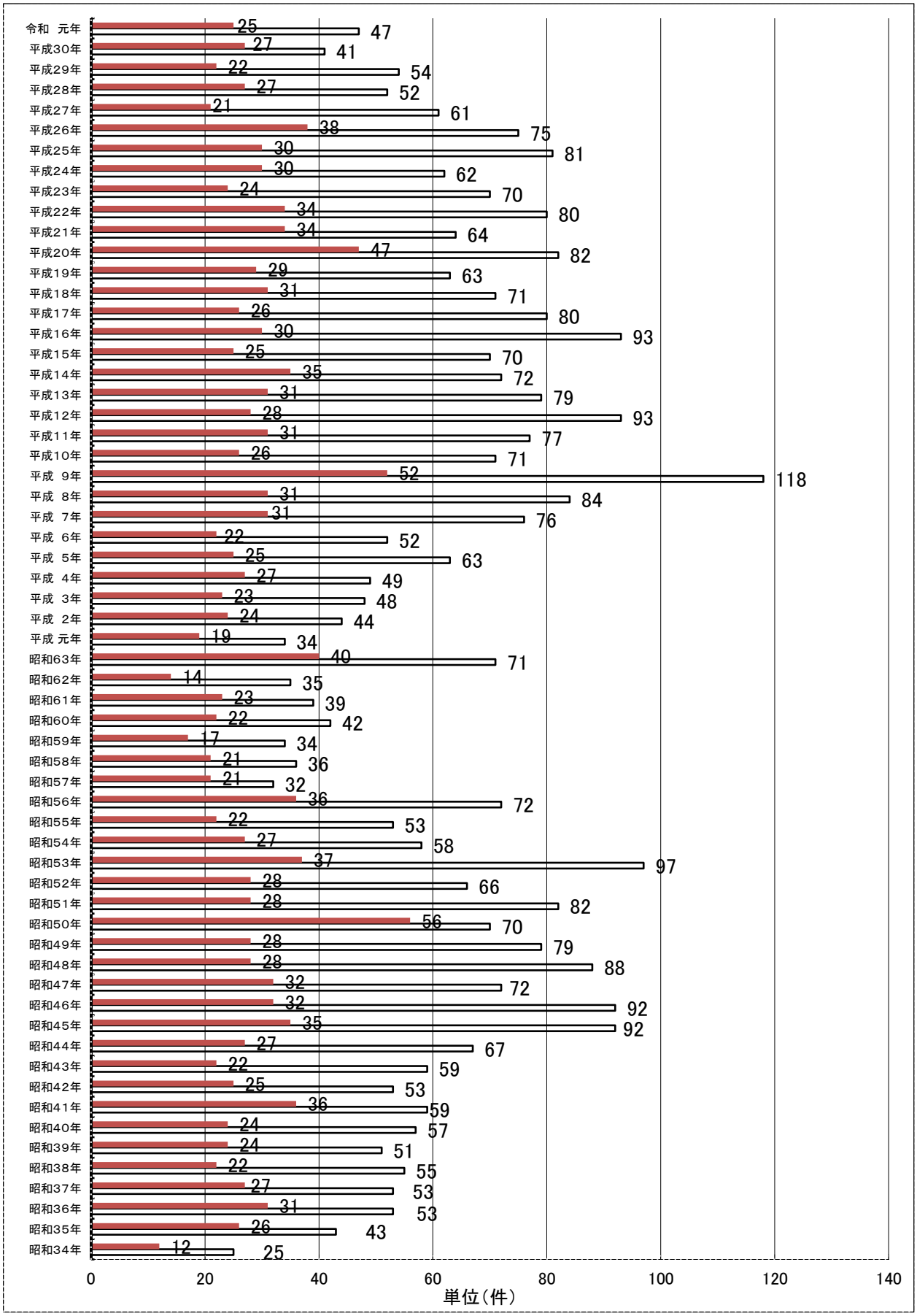
種別／原因別	火災種別				計	月別											
	建物	林野	車両	その他		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
たばこ	4	2		3	9	3			2	2				1		1	
放火の疑い	2		1	5	8	1	1	2		1					2	1	
たき火	1	1		3	5	3				2							
電気機器	5				5	2				2		1					
電熱器	3				3						1				1	1	
屋内配線	2				2		1						1				
枯草焼き				2	2				1	1							
ガスコンロ	1				1	1											
ストーブ	1				1												1
排気管			1		1								1				
火あそび				1	1	1											
溶接機・切断機	1				1					1							
交通機関内配線			1		1									1			
火花	1				1		1										
その他	1		1	1	3					1					1	1	
不明	3				3		1		1							1	
合計	25	3	4	15	47	11	4	2	4	10	1	1	2	2	4	5	1

８　火災発生時刻と件数

発生時刻（時）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
建物火災	1		1			3	1			2	1			1	3	3	1		3		2	1	1	1	25
建物以外	1							1	1	1	2		3	4	2	3				1	2		1		22



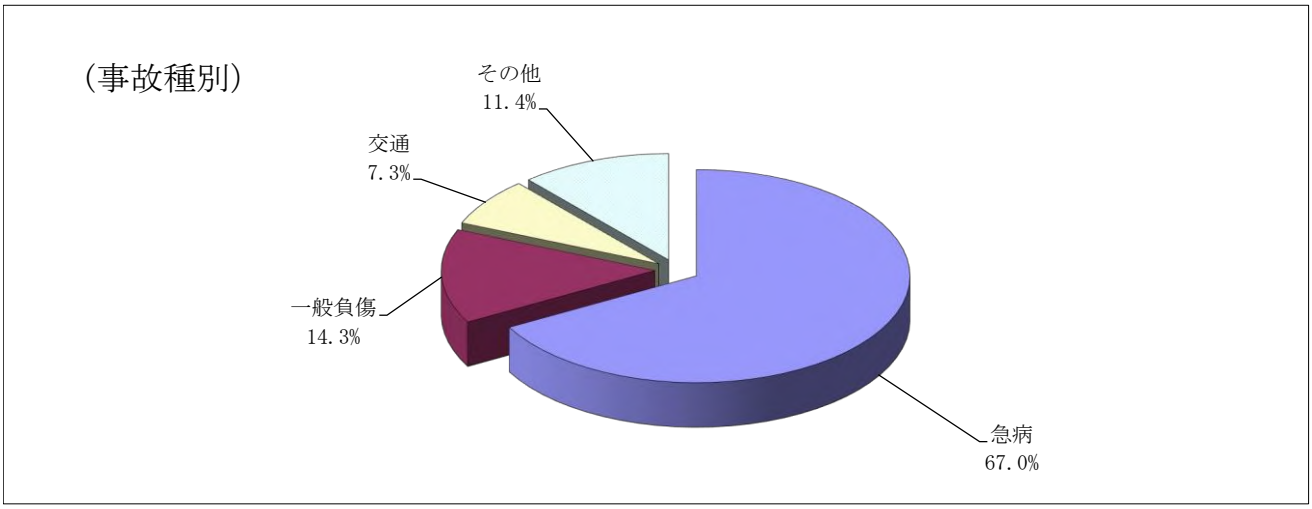
9　各年火災件数グラフ（色刷りは建物火災を表す）



救 急 統 計

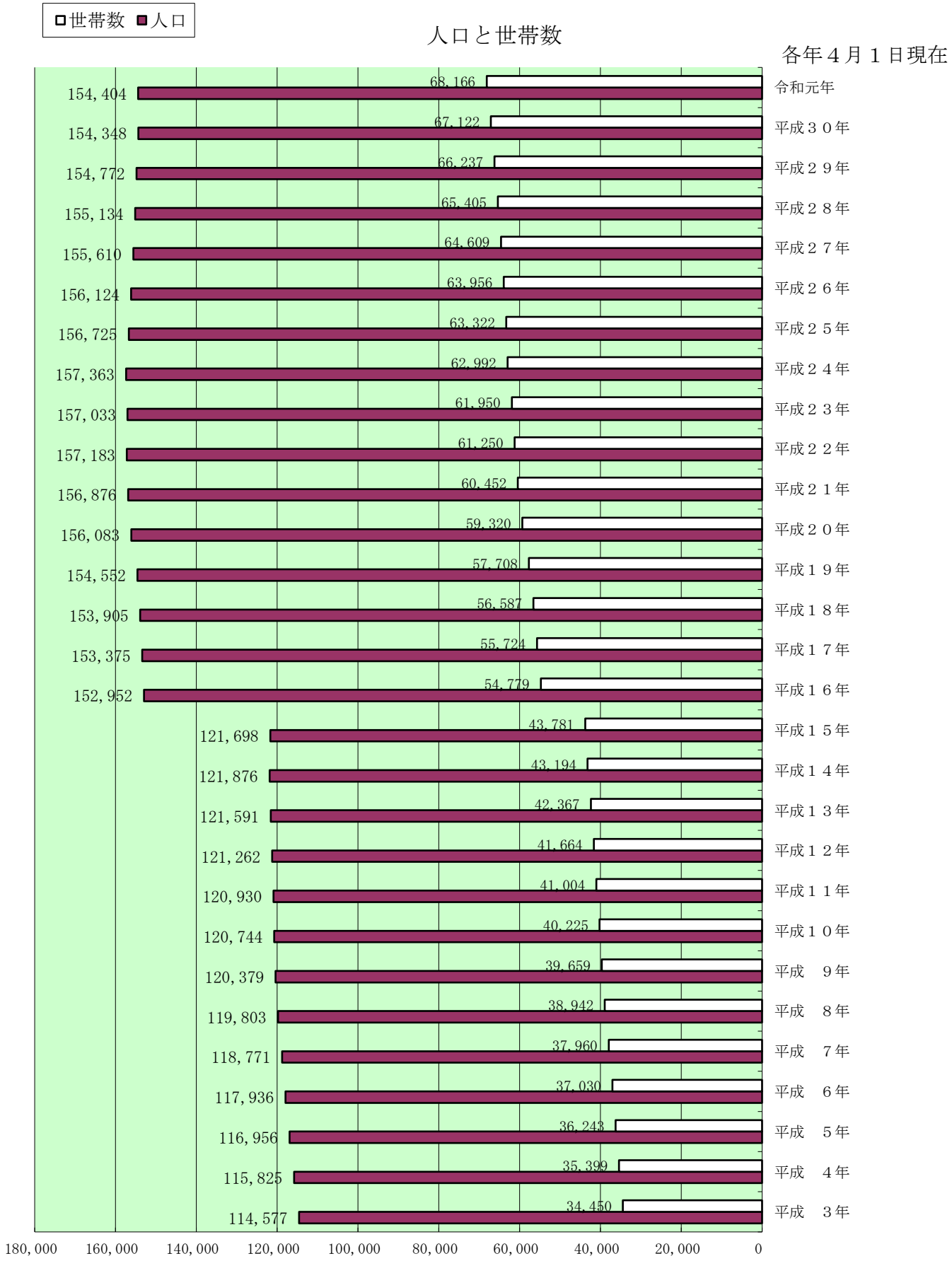
1　救急出場件数

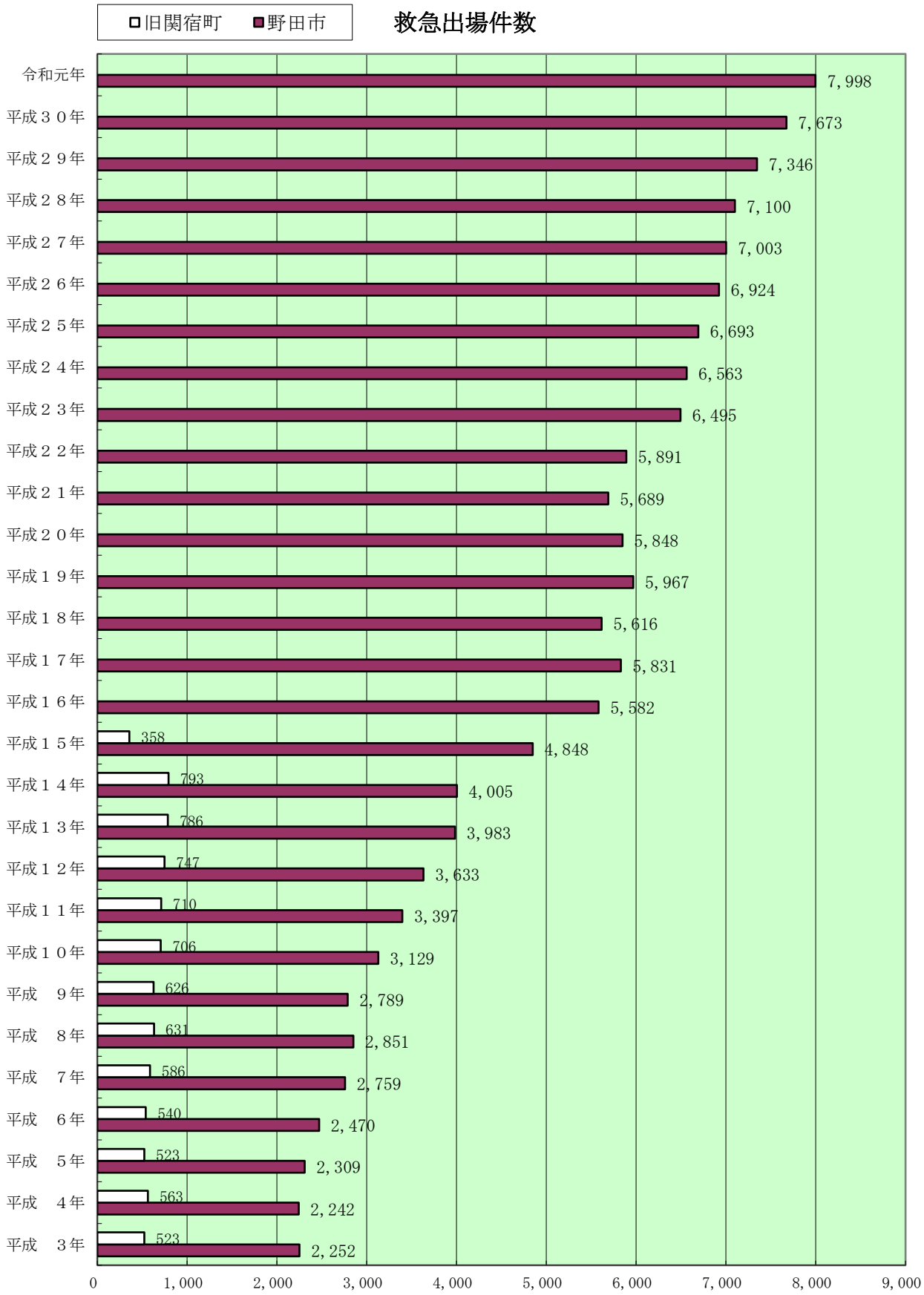
事故種別／月別	火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	不搬送
１月	7			45	8		93	11	4	588	73	829	99
２月	4			53	6	2	98	3	3	412	53	634	67
３月				51	6		87	2	2	441	45	634	59
４月	1			65	6	3	107	1	2	428	50	663	55
５月	5			31	6	4	81	7	5	395	49	583	48
６月	2			35	2	7	83	4	11	395	58	597	45
７月	1			41	10	3	91	4	6	459	44	659	50
８月	2		2	50	22	4	101	1	7	498	60	747	58
９月	2	1	1	58	10	5	87	1	6	422	49	642	67
１０月	2	1		48	8	1	122	3	9	481	45	720	70
１１月	5			55	12	3	108	1	8	402	49	643	82
１２月			1	53	4	1	87	5	6	435	55	647	65
合計	31	2	4	585	100	33	1,145	43	69	5,356	630	7,998	765



※円グラフ『その他』は、急病・一般負傷・交通事故以外全ての事故種別を含む。

２　人口と救急件数の推移



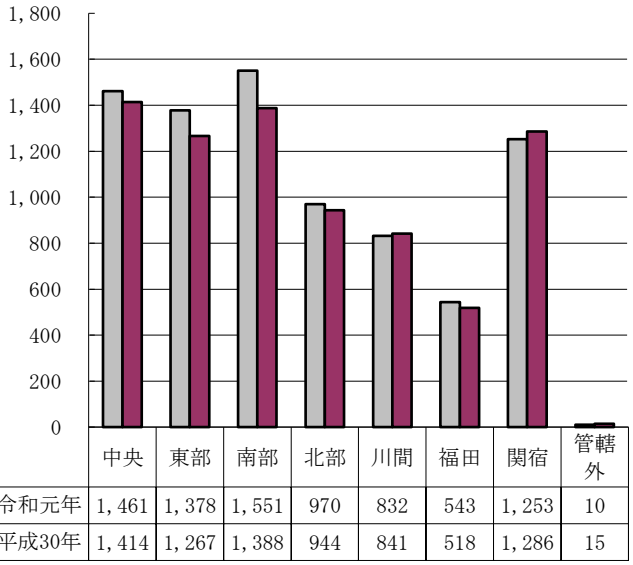

旧関宿町
野田市
救急出場件数
令和元年
平成３０年
平成２９年
平成２８年
平成２７年
平成２６年
平成２５年
平成２４年
平成２３年
平成２２年
平成２１年
平成２０年
平成１９年
平成１８年
平成１７年
平成１６年
平成１５年
平成１４年
平成１３年
平成１２年
平成１１年
平成１０年
平成　９年
平成　８年
平成　７年
平成　６年
平成　５年
平成　４年
平成　３年
7,998
7,673
7,346
7,100
7,003
6,924
6,693
6,563
6,495
5,891
5,689
5,848
5,967
5,616
5,831
5,582
358
4,848
793
4,005
786
3,983
747
3,633
710
3,397
706
3,129
626
2,789
631
2,851
586
2,759
540
2,470
523
2,309
563
2,242
523
2,252
0
1,000
2,000
3,000
4,000
5,000
6,000
7,000
8,000
9,000

3　署所別救急出場件数

年別 / 署所別	令和元年	構成比　(%)	平成30年	構成比　(%)
消　防　署	1,685	21.1	1,627	21.2
中　央　分　署	1,647	20.6	1,574	20.5
北　分　署	1,505	18.8	1,465	19.1
南　分　署	1,663	20.8	1,533	20.0
関　宿　分　署	1,017	12.7	1,014	13.2
関宿北出張所	481	6.0	460	6.0
計	7,998	100.0	7,673	100.0

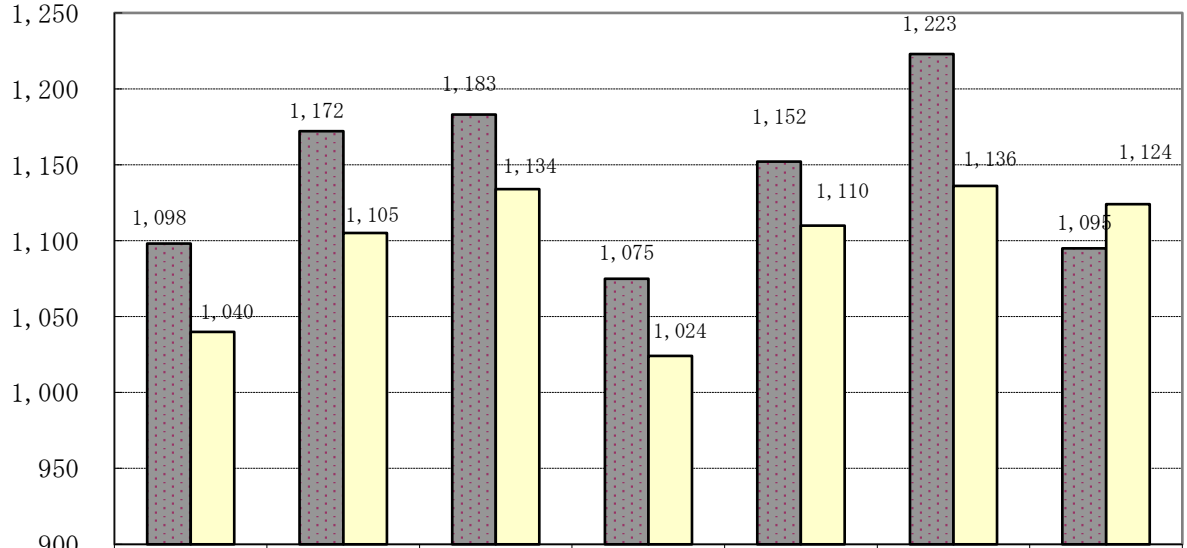
4　区域別救急出場件数

区　分	令和元年	構成比（%）
中央地区	1,461	18.3
東部地区	1,378	17.2
南部地区	1,551	19.4
北部地区	970	12.1
川間地区	832	10.4
福田地区	543	6.8
関宿地域	1,253	15.7
管轄外	10	0.1
計	7,998	100.0



	中央	東部	南部	北部	川間	福田	関宿	管轄外
令和元年	1,461	1,378	1,551	970	832	543	1,253	10
平成30年	1,414	1,267	1,388	944	841	518	1,286	15

5　曜日別救急出場件数

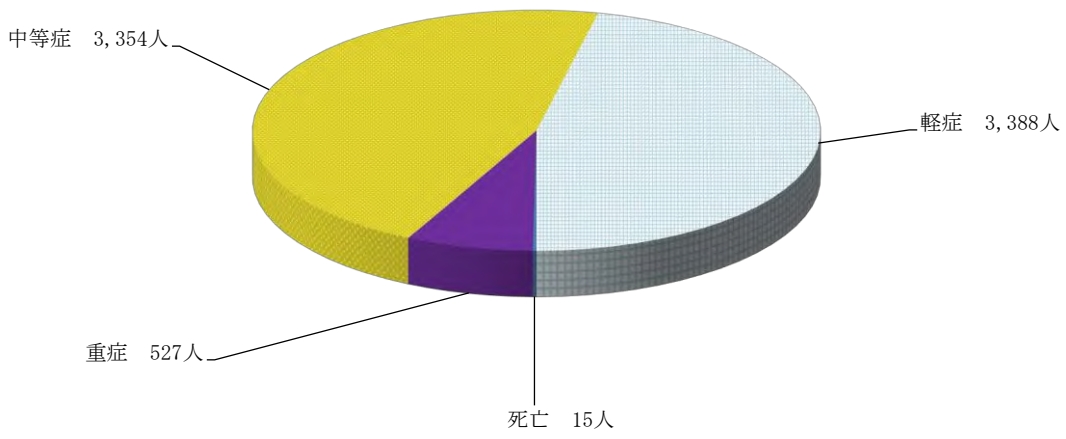


	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
令和元年	1,098	1,172	1,183	1,075	1,152	1,223	1,095
平成30年	1,040	1,105	1,134	1,024	1,110	1,136	1,124

6　搬送人員

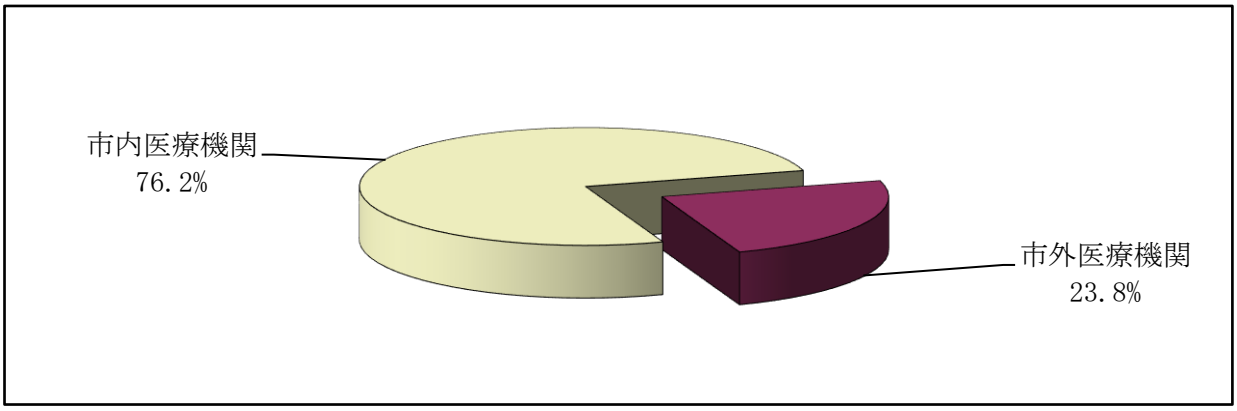
事故種別／月別	火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
１月	1			48	8		90	6	4	518	61	736
２月	1			49	6	2	85	1	2	380	44	570
３月				47	6		82	1	1	404	36	577
４月				68	6	3	103	1	1	397	38	617
５月				29	6	6	76	4	4	374	37	536
６月	4			33	2	7	77	5	11	368	50	557
７月				43	9	3	83	4	5	426	40	613
８月			1	50	23	4	92		7	466	50	693
９月		1		58	9	5	78	1	5	387	37	581
１０月	1			47	8	1	116	1	4	438	37	653
１１月				49	12	3	98	1	6	359	33	561
１２月				55	5	1	80	3	4	399	43	590
合計	7	1	1	576	100	35	1,060	28	54	4,916	506	7,284

（搬送人員の傷病程度別）



7　医療機関別搬送人員（6,922人）

市　内		市　外	
小張総合病院	4,288 人	東京慈恵会医科大学附属柏病院	335 人
キッコーマン総合病院	668 人	東葛病院	187 人
野田病院	536 人	茨城西南医療センター病院	166 人
野田中央病院	14 人	おおたかの森病院	95 人
門倉医院	4 人	松戸市立総合医療センター	68 人
東葛飾病院	9 人	国立がん研究センター東病院	56 人
その他	30 人	その他	828 人
合　　計	5,549 人	合　　計	1,735 人



8　年齢別搬送人員

区　　分	令和元年	構成比（%）	平成30年	構成比（%）
新生児（生後２８日以内）	25	0.3	34	0.5
乳幼児（生後２９日以上７歳未満）	331	4.5	275	4.0
少　年（７歳以上１８歳未満）	275	3.8	271	3.9
成　人（１８歳以上６５歳未満）	2,081	28.6	2,147	31.0
老　人（６５歳以上）	4,572	62.8	4,195	60.6
計	7,284	100.0	6,922	100.0

9　講習会実施状況

種別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
普通救命講習	実施回数	1	4	3	6	15	16	8	3	2	7	12	5	82
	受講者数	32	102	43	118	251	339	181	23	46	110	259	85	1,589
一般応急手当	実施回数	2	2	10	6	18	24	6	8	15	18	33	24	166
	受講者数	42	40	445	187	934	1,543	503	225	986	2,064	2,209	1,433	10,611

救　助･その他

1　月別救助出場状況

月別 / 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災													
交通事故	2	4	2	7	2		1	3	3		1	2	27
水難事故								1	1				2
風水害等自然災害事故									1				1
機械による事故	1			1					1				3
建物等による事故	7		3	4	4	2	2	2	1	2	2	1	30
ガス及び酸欠事故													
破裂事故													
その他の事故	8	4	1	4	4	2	3	2	4	3	2	5	42
計	18	8	6	16	10	4	6	8	11	5	5	8	105

2　事故種別活動状況

区分 / 事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出場件数			27	2	1	3	30			42	105
活動件数			10	2		3	27			8	50
救助人員			10	1		3	27			8	49
救出者傷病程度別	死亡						6				6
	重症		2	1		1					4
	中等症		2			2	8			1	13
	軽症		6				6			5	17
	負傷なし						7			2	9

3　その他災害出場

（１）種別件数

種別＼月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計
救急支援	94	60	46	60	41	40	49	45	40	60	59	64	658
野焼き	14	8	7	3	4	3	7	3	7	2	2	13	73
ヘリ離着陸確保	4	1	4	1	1	1	1	3	4	1	3	2	26
火災と紛らわしい現象		1				1				1			3
焼却放置			3		1		1	2		1		1	9
危険排除	10	6	4	5	2	10	6	6	11	6	7	5	78
公共作業	2				1		1						4
再燃警戒	6	3	1		3	1	1	1	1	2	1	1	21
管外応援出場	1			2				1		1			5
いたずら等													
誤認・誤報	2	4	1	2	4	1	1	4			2	1	22
非火災	2	1	2	1	1	1					1	1	10
火災報知設備の発報	4	4	4	1	1	1	4	2	8	3	7	3	42
風水害等の災害		1							8	20			29
その他	3	4		4	4	4	3		6	3	4	6	41
合　　計	142	93	72	79	63	63	74	67	85	100	86	97	1,021

（２）署別件数

署所別＼月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計
消　防　署	22	18	17	14	12	7	13	10	15	20	21	13	182
中央分署	24	18	11	14	10	16	12	11	12	20	14	26	188
北　分　署	27	17	11	13	14	15	19	17	21	19	16	18	207
南　分　署	35	28	21	15	16	16	18	20	20	21	20	20	250
関宿分署	30	11	10	19	8	9	11	8	17	17	14	17	171
関宿北出張所	4	1	2	4	3		1	1		3	1	3	23
合　　計	142	93	72	79	63	63	74	67	85	100	86	97	1,021

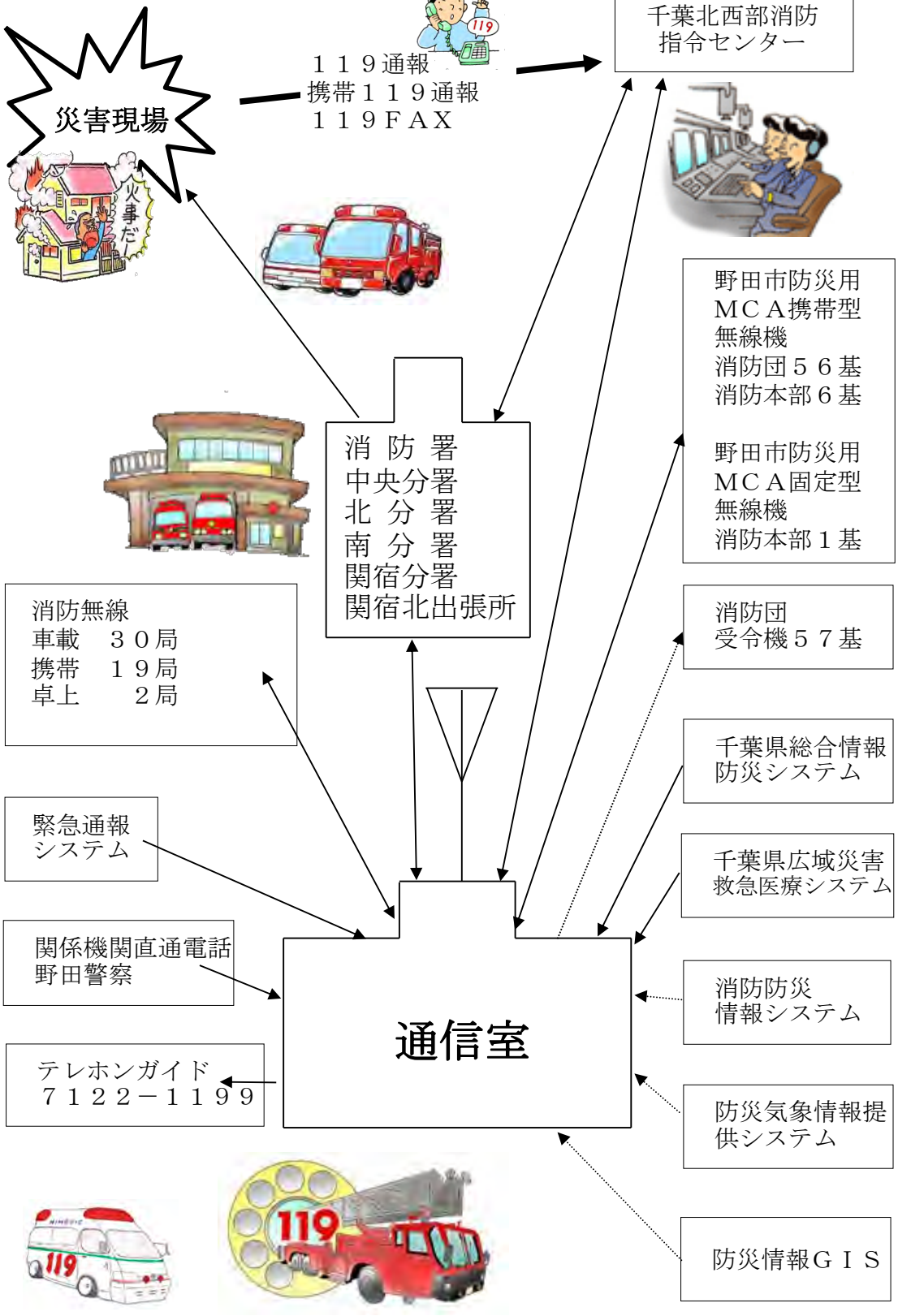
通 信 指 令

1　通信指令装置の機器構成

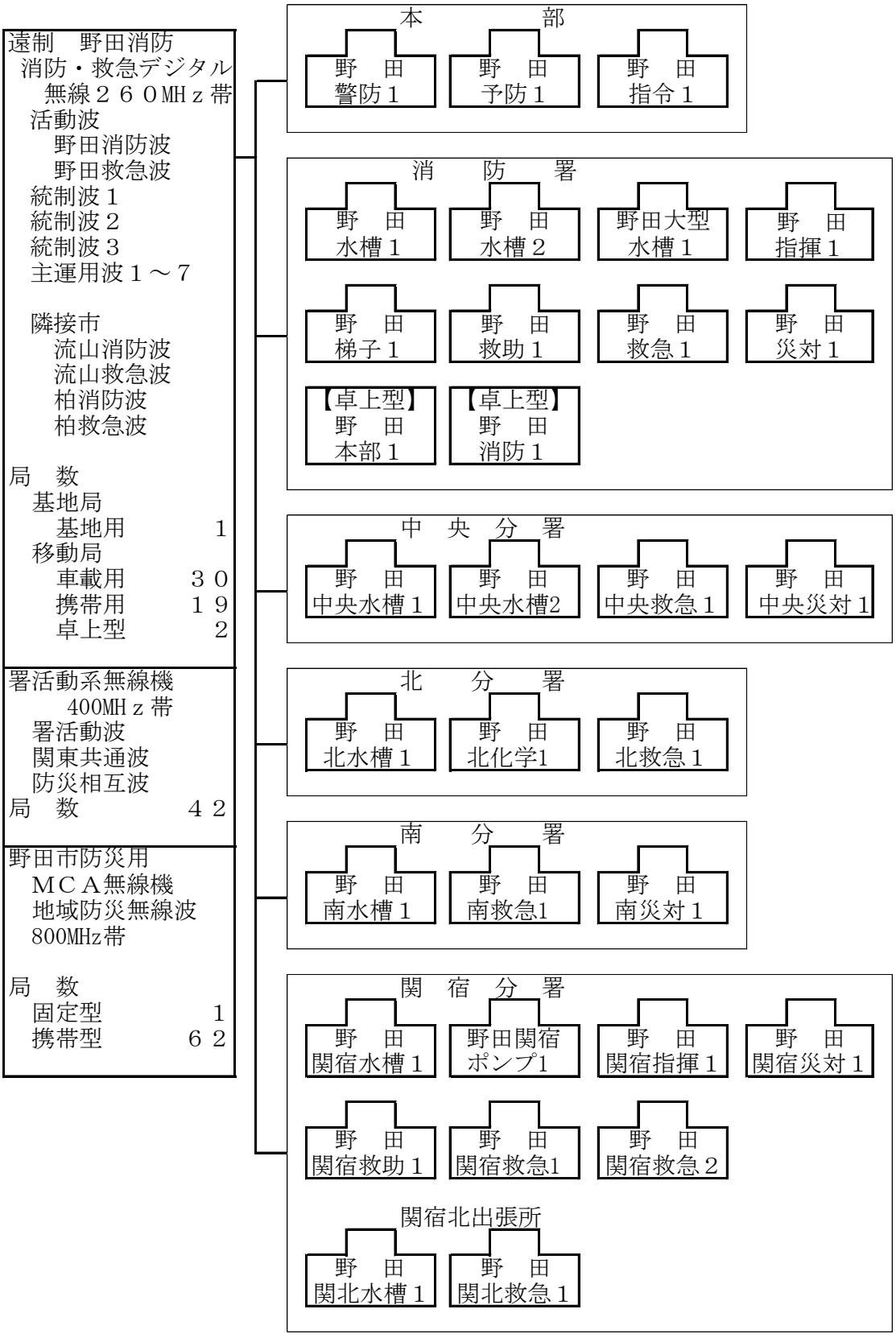
項	機　器　名　称	備　　考
1	指令装置	（１）　指令台
		（２）　自動出動指定装置
		（３）　地図検索装置
		（４）　長時間録音装置
		（５）　非常用指令設備
		（６）　指令制御装置
		（７）　プリンタ
		（８）　スキャナ
		（９）　署所端末装置
		（１０）受令端末無線受令切替装置
2	表示盤	（１）　車両運用表示盤
		（２）　支援情報表示盤
		（３）　多目的情報表示盤
		（４）　重要着信事案表示灯
3	無線統制台	
4	指令電送装置	
5	気象情報収集装置	
6	音声合成装置	
7	災害状況等自動案内装置	音声合成連動
8	自動順次指令装置	音声合成連動
9	出動車両運用管理装置	（１）　管理装置
		（２）　車両運用端末装置
10	電源設備	（１）　無停電電源装置
		（２）　直流電源装置
		（３）　高圧受電設備
		（４）　非常用発動発電機
11	発信地表示システム	
12	１１９番受信ＦＡＸ	
13	１１９番補助受付装置	
14	遠隔録音装置	
15	静止画像電送装置	
16	消防情報支援システム	（１）　消防情報管理装置
		（２）　消防情報支援端末装置
17	サイレン警報拡声装置	通信室～欅のホール遠隔制御装置
18	庁内一斉放送設備	庁内放送システム

※千葉北西部消防指令センター設置機器を含む

２　消防通信系統図


災害現場
火事だ
１１９通報
携帯１１９通報
１１９ＦＡＸ
千葉北西部消防
指令センター
野田市防災用
ＭＣＡ携帯型
無線機
消防団５６基
消防本部６基
野田市防災用
ＭＣＡ固定型
無線機
消防本部１基
消 防 署
中央分署
北 分 署
南 分 署
関宿分署
関宿北出張所
消防団
受令機５７基
消防無線
車載　３０局
携帯　１９局
卓上　　２局
千葉県総合情報
防災システム
千葉県広域災害
救急医療システム
緊急通報
システム
関係機関直通電話
野田警察
通信室
消防防災
情報システム
テレホンガイド
７１２２－１１９９
防災気象情報提
供システム
防災情報ＧＩＳ
119
119

3　消防用無線電話配置状況



４　１１９番通報受信件数

月別 種別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火災	30	14	4	15	11	5	4	17	9	6	18	8	141
	15	10	3	9	5	3		9	3	2	10	2	71
救急	766	595	591	610	543	565	630	717	602	674	588	613	7,494
	292	240	226	260	222	216	260	324	271	278	256	263	3,108
救助	9	4	7	13	6	4	2	6	6	2	5	3	67
	6	1	2	8	4	2	2	3	4	2	1	3	38
その他災害	17	10	12	7	13	7	14	10	18	18	14	7	147
	7	6	6	2	6	3	7	3	11	11	5	3	70
問合せ	20	21	22	12	21	15	24	21	16	47	21	11	251
	9	10	8	8	14	7	13	12	8	25	13	9	136
病院照会	21	8	10	14	14	13	16	7	12	8	12	10	145
	15	6	9	7	11	8	13	4	9	7	11	5	105
いたずら	1		1			1	2	1	2			3	11
			1				2		2			1	6
間違い	24	16	19	20	19	16	27	22	34	29	33	28	287
	17	12	10	10	16	7	17	15	21	19	28	17	189
試験通話	4	23	19	7	8	16	13	13	14	16	20	11	164
										1			1
その他	82	67	79	74	77	81	76	85	118	86	92	77	994
	60	43	47	51	54	45	49	63	77	47	67	51	654
合　計	974	758	764	772	712	723	808	899	831	886	803	771	9,701
	421	328	312	355	332	291	363	433	406	392	391	354	4,378

※　上段数値は、１１９番電話受信件数です。

※　下段数値は、上段件数の内携帯電話受信件数です。

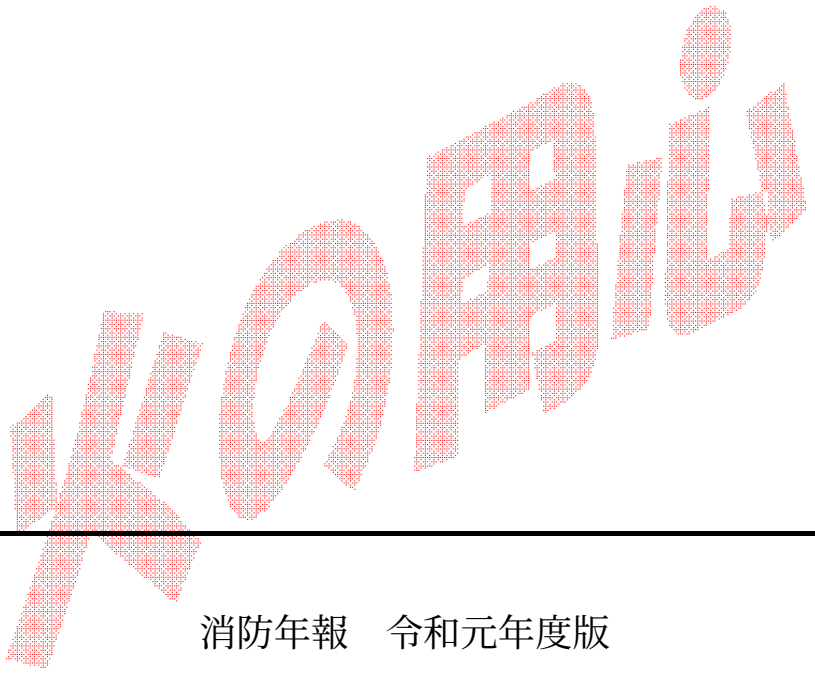
※　平成２５年４月１日から千葉北西部消防指令センター運用開始。

※　衛星電話は、携帯電話に含まれる。

5　各種気象情報等受理状況

（千葉県防災行政無線による気象情報）

種別 ＼ 月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
火災警報														
火災気象通報		32	18	21	15	11	3	2	5	3	6	14	16	146
警報	大雨									1	2			3
	暴風									1	1			2
	洪水										3			3
	大雪													
	崖崩れ													
注意報	乾燥	9	10	6	9	4	1					6	5	50
	強風	3	3	10	3	2	4	2	2	3	5	3	5	45
	風雪													
	大雪	1	2											3
	着氷・着雪	1	2											3
	大雨			1		1	3	1	2	6	6		1	21
	洪水					1				4	5			10
	濃霧		5	2	5	11	12	17	15	11	5	2	5	90
	霜			8	9	1								18
	低温						1							1
	雷	2	4	6	10	8	12	15	9	8	6	6	6	92
情報	地震	8	3	2	8	14	14	23	5		11	8		96
	台風									21	38	6	1	66
	気象		9			8	18	19	16	45	91	8	6	220
	土砂災害警戒							2		13	22	8		45
	竜巻									9	16		6	31



消防年報　令和元年度版

令和２年６月　　発行
編集・発行　　野田市消防本部総務課
郵便番号　　２７８－０００５
住　　所　　千葉県野田市宮崎１２６番地の２
Ｔ　Ｅ　Ｌ　　０４－７１２４－０１１９（代表）
Ｆ　Ａ　Ｘ　　０４－７１２４－３４１６
Ｅ－ｍａｉｌ　　syousoumu@mail.city.noda.chiba.jp
syousoumu@city.noda.lg.jp(LGWAN)

この用紙は再生紙を使用しております。